

中学校等避難所空調設備設置工事(緑中学校)

建 築		電 気		機 械	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
共通-01	特記仕様書 1	共通-06	特記仕様書 6 電気設備工事	共通-07	特記仕様書 7 機械設備工事
共通-02	特記仕様書 2	E-01	受変電設備 単線結線図・姿図(撤去)	共通-08	特記仕様書 8 機械設備工事
共通-03	特記仕様書 3	E-02	受変電設備 単線結線図・姿図(新設)	共通-09	特記仕様書 9 機械設備工事
共通-04	特記仕様書 4	E-03	幹線設備 改修 結線図・外構図	M-01	空調換気設備 機器表 参考図
共通-05	特記仕様書 5			M-02	空調換気設備 1階平面図
A-01	案内図・配置図			M-03	空調換気設備 中間階平面図
A-02	仕上表			M-04	空調設備 断面図
A-03	1階平面図			M-05	空調設備 展開図
A-04	2階平面図			M-06	空調設備 立面図1
A-05	立面図 1			M-07	空調設備 立面図2
A-06	立面図 2			M-08	制御設備 1階平面図
A-07	断面図			M-09	制御設備 中間階平面図
A-08	建具表 1				
A-09	建具票 2				
A-10	雑詳細図				
A-11	仮設計画図				

② 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示	[2.1.3]
	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 防護ネット等 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等・図示) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種・B種・C種・D種・E種) C種:利用可能なエレベーター(・図示) D種:利用可能な階段(・図示・打合せによる)	[2.2.1][表2.2.1]
③ 既存部分の養生	既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(※ビニルシート等) 保管場所(・図示・図示) 打合せによる 固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示・図示) 打合せによる		[2.3.1]
4 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所・図示 仮設間仕切りの種別と材質等		[2.3.2][表2.3.1]
	種別 下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材 ・A種 木 せつこうボード(9.5mm) 種類() ・無し ※有り ・B種 軽量鉄骨 種類() ・片面 ・C種 単管 防火シート 種類()		
	※C種 単管 防火シート 充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上)		
	仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等		
	材質 仕上げ 塗装 設置箇所 充填材 ※木製 ※合板張り程度 ・無し ※図示 ・か所 ・有り ・ 片面 ・無し		
	充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上)		
5 監督員事務所	規模 ・既存建物内の一部を使用 ・構内に新設 ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品(名分相当) 机 ・椅子 ・書櫃 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・両合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止用器具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター		[2.4.1]
⑥ 現場表示板	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない		[2.4.1][1.1.12]
⑦ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(◎有償・無償)		
⑧ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(別途施設調整を行うこと)		
⑨ 工事用搬入路	※図示		
⑩ 仮囲い	◎設置位置等は監督員の指示による ○図示 図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、必要に応じ適切に配置し的確に対応すること。		
⑪ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ◎監督員の指示による ○図示		
12 快適トイレ	仕様 ※図示		
A 仮設物	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。		<2.3.1>
B 火元責任者	火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。		
C その他	◎仮囲い等は現場の状況に合わせて適宜計画すること。 ◎ゲート等の位置は監督員と協議の上、必要に応じて適切な位置に移動すること。 ◎仮設材の位置・仕様・車両の通行路と進入方法等について、施工前に必ず監督員と協議すること。 ◎近隣や施設の行事予定を把握し、工事車両の入場計画を立てること。		

A 解体施工	○屋外設備等	フェンス等工物の撤去 ○行う(※図示) ・行わない	<3.10.1>
	○樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ◎図示 ◎協議による	<3.11.1>
B 建設廃棄物の処理	① 一般事項	※受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用(促進)計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。 また、工事完成後速やかに計画の実施状況(実績)について、「再生資源利用(促進)実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。 (a) 再生資源利用計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の土砂を搬入する工事 (2) 500t以上の砕石を搬入する工事 (3) 200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事 (4) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事) (b) 再生資源利用促進計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の建設発生土を搬出する工事 (2) アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200t以上搬出する工事 (3) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事)	[1.1.12]
	② 再資源化等(再資源化及び削減)	建設廃棄物の種類 備考 ○コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・木材 ○アスファルトコンクリート ○金風類 ・建設泥土 ・小形二次電池 ○蛍光灯及びHIDランプ ・硬質塩化ビニル管及び継手 ○ガラス ・木材(削減)	<4.4.1>
3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	建設廃棄物の種類 数量 備考		<4.4.1>
4 産業廃棄物広域認定制度の活用	建設廃棄物の種類 備考		<4.4.2>
5 最終処分	建設廃棄物の種類 備考		<4.4.3>
6 処理に注意を要する建設廃棄物	建設廃棄物の種類 備考 ・石綿含有せつこうボード ・ひ素・カドミウム含有せつこうボード ・上記以外のせつこうボード ・CCA処理木材		<4.5.1>
7 舗装版切断時に発生する濁水の処理	廃棄物の処理 ・監督員と協議 (濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。 種類 汚泥 (共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いつつ濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフスト」という。)により管理するものとする。 (提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにマニフストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 (その他) 受注者は、バキューム式以外の工法(舗装版切断時に濁水を生じない等)を使用する場合には、事前に発注者と協議するものとする。		

C 特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査	※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。 (1)特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2)特別管理産業廃棄物に付した、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3)調査結果は調査にとりまとめ、監督員に提出する。	<5.1.2>																							
	② 分析調査	分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シーリング 部位・図示 分析調査(第一次判定) 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング 部位・図示 分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング分析調査 ・監督員と協議 ・PCBを含む機器の微量PCBの分析調査 ・絶縁油のPCB含有量の分析調査 「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(環境省)」により行う。 ・ダイオキシン類のサンプリング調査 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。	<5.1.2>																							
3 特別管理産業廃棄物の処理	特別管理産業廃棄物の種類 備考 ・塵石綿等 ・PCBを含む機器類 ・PCB含有シーリング材 ・廃油 ・廃酸/廃アルカリ ・ダイオキシン類		<5.4.1>																							
4 PCBを含む機器類	処理施設 ・監督員と協議 引渡しを要する機器類		<5.4.1>																							
5 PCB含有シーリング材	除去処理工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・「標準施工要領書(日本シーリング工業事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。		<5.4.1>																							
6 ダイオキシン類	廃棄物の焼却施設の解体 解体方法 処分方法		<5.4.1>																							
D 石綿含有建材の除去及び処理	① 石綿含有建材の事前調査	石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲 ○本工事施工範囲・図示 貸与資料(石綿含有建材調査結果報告書) 設計書に記載がない場合、「みなし」として報告、施工する。	<1.4.1>																							
	② 石綿含有分析調査	分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフイライト、トレモライト 分析方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1</th> <th>JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3</th> <th>JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・7x7x7防水(屋根)</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 吹付け材及び保温材等は ※10cm ³ /箇所 成形板は ※100cm ² /箇所 採取箇所 ・図示 分析結果については監督員に提出すること。 「9 環境配慮改修工事」による ◎近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4	・7x7x7防水(屋根)	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																						
	JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4																						
・7x7x7防水(屋根)	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
③ 石綿粉じん濃度測定																										
④ その他																										

E 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所	<7.1.3>
	2 回収及び処分	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類 備考 ・ フロン(冷媒) ・ 建材用断熱材フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス ・ PFO5(ペルフルオロ(オクタン-1-イル)酸) ・ 特定化学物質() ・ その他の特殊な建設副産物()	<7.3.1>
	回収又は処分 ・ 機械設備図による		
日付	工事名称	図面No.	
春 日 部 市 学 校 教 育 部 教 育 施 設 課	中学校等避難所空調設備設置工事(緑中学校)	共通-02	
図尺	図面名称		
一	特記仕様書2		

③ 防水改修工事
1 施工数量調査
2 降雨等に対する養生方法(とい共) 3 既存防水の処理 4 既存下地の処理
5 アスファルト防水 6 改質アスファルトシート防水
7 合成高分子系ルーフィングシート防水
8 塗膜防水
④ シーリング
シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡張シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
・ポンドブローカー張り ・適用する ・適用しない
・エッジング材張り ・適用する ・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

4 外壁改修工事
10 とい
11 アルミニウム製窓木
12 防水工事施工業

⑤ 建具改修工事
1 改修工法
2 防火戸 3 見本の製作等 4 防犯建物部品 5 アルミニウム製建具
6 網戸等 7 樹脂製建具 8 鋼製建具 9 鋼製軽量建具
10 ステンレス製建具 11 木製建具 12 建具用金物
13 鍵 14 自動ドア開閉装置 15 自閉式上吊り引戸装置 16 重量シャッター
17 軽量シャッター
18 オーバーヘッドドア
19 ガラス
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラス
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による
・型板ガラス
型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による
・網入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による
破片の状態及びショットパツク衝撃特性による種類 ・I類 ・II類
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による
断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S
乾燥気候の種類 ・空気 ・アルゴン
・ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・グレイジングチャンネル ・図示による
鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・図示による
ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・図示による
樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による
・図示による

20 ガラスブロック
② ガラス用フィルム
※施工箇所は建具表による
種類 記号 その他性能等
○飛散防止機能付き日射調整フィルム ③
内貼り用 ※SC-1 外貼り用 ※SC-2 可視光線透過率:65%以上
「NANO80S」同等品
○低放射フィルム
○衝撃破壊対応ガラス ○G1-1 ・G1-2
○飛散防止フィルム
○衝撃破壊対応ガラス ○SD-1 ・GD-2
○飛散防止フィルム
○ガラス貫通防止フィルム ・SF
品質 JIS A 5759 による
熱割れ計算書 ※要 ・不要
第3者機関による性能測定データ ※要 ○不要

⑥ 内装改修工事
① 改修範囲
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示
② 既存床の撤去及び下地補修
ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]
・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内
③ 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示)
・図示
④ 施工一般
⑤ 製材 ⑥
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による
⑦ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
壁下地 45×90 ※2級 ・A種 ・B種
45×50
⑧ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 [6.5.2]
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
⑨ 造作用集成材 ⑩ 造作用単板積層材 ⑪
⑫ 合板等
・「合板の日本産林規格」による普通合板 ⑬ [6.5.2]
施工箇所 原寸(mm) 単板の樹種名 接合の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用
アリーナ ※5.5 ⑭2.0 ラワン ※1類 ・2類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上
⑯ 「合板の日本産林規格」による構造用合板 ⑰ [6.5.2]
施工箇所 等級 単板の樹種名 接合の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用
⑱ 接合具等
造作材の化粧面の釘打ち ※F☆☆☆☆ [6.5.3]
※隠し釘打ち ・釘埋めの木 ・つぶし頭釘打ち ・釘埋現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
(形状: 寸法: 材質:)
⑲ 接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3.4]
⑳ 内部間仕切軸組及び床組み
間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
㉑ 窓、出入口その他
窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
吊元時、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき
その他 ※松又は杉
㉒ 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) [6.6.2~4]
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・図示
周辺部の端からの間隔 ・図示
野縁の間隔 ・図示
既存の埋込みインサート ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※壁内の場合、当該階において3箇所 () 箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
() N
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示
補強方法 ※図示

16 ビニル床シート ⑮ [6.8.2.3]
種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考
※FS(複層ビニル床シート) ・無地 ・※2.0
・マブル柄 ・2.5
・柄物
接合部の処理 ※熱溶接工法
種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考
※FS(複層ビニル床シート) ・無地 ・※2.0
・マブル柄 ・2.5
・柄物
接合部の処理 ※熱溶接工法

17 ビニル床タイル ⑯ [6.8.2]
種類の記号 色柄 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考
※KT(コシツコシビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ※2.0
・柄物 ・450×450 ・3.0
・TT(単層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・2.0
・柄物 ・450×450
・FT(複層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・2.0
・柄物 ・450×450 ・2.5
・3.0
・FOA(置敷きビニル床タイル) ・無地 ・500×500 ・4.0
・柄物
・FOB(薄型置敷きビニル床タイル) ・無地
・柄物

18 特殊機能床材
19 ビニル幅木
材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ(mm) ※60 ・75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上
20 ゴム床タイル
種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]
色柄 ()
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) () × ()

21 カーベツト敷き ⑰
22 合成樹脂塗床 [6.10.2.3]
種類 施工箇所 工法 仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性付樹脂系塗床) ※平滑仕上げ
・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床) ・平滑仕上げ ・平滑仕上げ
・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床) ※平滑仕上げ
・7リットル樹脂塗床 (防塵塗料塗り) ※製造所の指定による 表面仕上げ ※平滑
溶剤 ※水性
塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
23 フローリング張り ⑱ [6.11.2~6]
フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
単層フローリング(フローリングボード1等)
工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら
間伐材等の適用 ・しない
単層フローリング(フローリングブロック1等)
樹種 ・
厚さ(mm) ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
複合フローリング
工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら
種類 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・する ・しない
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート
・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

24 畳敷き
25 せっこうボード
その他のボード張り [6.13.2.3]
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2.(2)(f)の(a)~(d)のいずれか
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
木質系セメント板 ⑳ [6.13.2.3]
種類 厚さ(mm)、規格等
・硬質(HW) ・15 ・20 ・25
・中質(MW) ・15 ・20 ・25
・普通(NW) ・15 ・20 ・25
木片セメント板 ㉑ [6.13.2.3]
種類 厚さ(mm)、規格等
・硬質(HF) ・12 ・15 ・18 ・21
・普通(NF) ・30
繊維強化セメント板
種類 厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FKタイプ2(無石綿)
・5 ・6 ・8
・化粧けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FKタイプ2(無石綿) ・6 ・8
表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け
吸音材料
種類 厚さ(mm)、規格等
・ロックウール化粧吸音板(DR) ・フラットタイプ
・(・9(不燃) ・12(不燃))
・凹凸タイプ
・(・12(不燃) ・15(不燃))
・ロックウール吸音板-T1号 ・25
・ガラスウール吸音板-T32K ・25(ガラスクロス包)

26 壁紙張り
壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.14.2.3]
施工箇所 紙 織物 強化ビニル紙付 無機質 その他 防火種別 備考
27 モルタル塗り
モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 [6.15.3.5.6]
既製目地材 ・設ける () 形状(※図示)
・設けない
床目地 ・設ける 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度)
種類 ※押し目地
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による
28 タイル張り
30 トイレブース
34 手すり
材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
・SUS304 表面処理 ※HL程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(※標準仕様書表14.2.2による種別(種))
・アルミニウム 表面処理(※標準仕様書表14.2.1による種別(BC-1種))
色合等 ・標準色() ・特注色()
手すりの握り部分
握り種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考
・集成材(材種:) ・2リブカラー ・30程度 ・35程度 ・45程度
・ビニル樹脂のレール ・30程度 ・35程度 ・45程度
・圧入型 ・HL ・34φ ・42.7φ 外部 SUS手覆
・樹脂被覆タイプ ・34φ 内部 FMS手覆

35 階段滑り止め
36 黒板及びホワイトボード
37 表示
衝突防止表示
・設置場所 ※図示による
形状・寸法(・30φ)
材質(・ステンレス製 ・塩ビシート)
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

38 トラップ
39 ブラインド
40 ロールスクリーン
41 カーテン
形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考
・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ
・ダブル ・引分け ・ひも引き ・電動 ・箱ひだ、片ひだ ・図示
・アレーンひだ
・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ
・ダブル ・引分け ・ひも引き ・電動 ・箱ひだ、片ひだ ・図示(暗幕)
・アレーンひだ

42 カーテンレール
材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
ステンレス製
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス
清溝×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材(仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材(市販品)
種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色() ・特注色()
・鋼製(仕上げ:)

44 天井点検口
材質 寸法 形式 外枠 内枠
※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・隠縁タイプ ・隠縁タイプ
(豊野中) ・600×600 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ
・気密形
45 床点検口
46 収納家具

46 収納家具
47 洗面カウンター
48 鋼製書架及び物品棚
49 防煙垂れ壁

日付 2023.9.1
工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事(線中学校)
図面No. 共通-03
特記仕様書 3

⑦ 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。(箇所：)</p> <p>塗替えR品種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・図示 [7.2.1~7]</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>珪藻土、せっこうフラスコ面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>A.L.C.パネル面</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(注) DP以外からDPへ塗替えする場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。</p>	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	—	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—	珪藻土、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない	コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない	A.L.C.パネル面	—	—	—	押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない	コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—																																											
	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																																																																					
	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	—																																																																																					
	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																																																																					
亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																																																																						
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																						
珪藻土、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない																																																																																						
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない																																																																																						
A.L.C.パネル面	—	—	—																																																																																						
押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない																																																																																						
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない																																																																																						
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																						
② 下地調整																																																																																									
③ 素地ごしらえ																																																																																									
④ 錆止め塗料塗り	<p>錆止めの塗料塗りの種類 [7.4.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は [表7.4.3])</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>A種 ※B種</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は [表7.4.3])</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(f)(b)による</td> <td>B種(下地調整RB種)</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は [表7.4.4])</td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(f)(a)による</td> <td>A種</td> </tr> </table> <p>亜鉛めっき鋼面</p> <table border="1"> <tr> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は [表7.4.5])</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は [表7.4.5])</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>C種</td> <td>—</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td>—</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は [表7.4.6])</td> <td>新規</td> <td>B種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>	素地面	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	A種	(工程の種類は [表7.4.3])	新規見え隠れ	A種	A種	EP-G	塗替え	A種 ※B種	C種	(工程の種類は [表7.4.3])	新規見え隠れ	A種 ※B種	A種	DP	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による	B種(下地調整RB種)	(工程の種類は [表7.4.4])	新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種	SOP	塗替え	※A種	※B種	※C種	(工程の種類は [表7.4.5])	新規鋼製建具等	※A種	※B種	※A種	EP-G	塗替え	※B種	※B種	※B種	(工程の種類は [表7.4.5])	新規鋼製建具等	C種	—	※A種	DP	塗替え	C種	—	※B種	(工程の種類は [表7.4.6])	新規	B種	—	—																														
素地面	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																																						
鉄鋼面	SOP	塗替え	A種																																																																																						
(工程の種類は [表7.4.3])	新規見え隠れ	A種	A種																																																																																						
EP-G	塗替え	A種 ※B種	C種																																																																																						
(工程の種類は [表7.4.3])	新規見え隠れ	A種 ※B種	A種																																																																																						
DP	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による	B種(下地調整RB種)																																																																																						
(工程の種類は [表7.4.4])	新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種																																																																																						
SOP	塗替え	※A種	※B種	※C種																																																																																					
(工程の種類は [表7.4.5])	新規鋼製建具等	※A種	※B種	※A種																																																																																					
EP-G	塗替え	※B種	※B種	※B種																																																																																					
(工程の種類は [表7.4.5])	新規鋼製建具等	C種	—	※A種																																																																																					
DP	塗替え	C種	—	※B種																																																																																					
(工程の種類は [表7.4.6])	新規	B種	—	—																																																																																					
⑤ 塗装	<p>[7.5.2~7.12.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td>・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>塗料の種類 ※1種・2種</td> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り(CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形材の板面</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・オイルステン塗り(OS)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>—</td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、珪藻土、せっこうフラスコ面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えのしきり</p> <p>※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしきりめシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしきりめ</p> <p>※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしきりめシーラーとする</p> <p>(注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。</p> <p>・高日射反射塗料塗り [G] 下地調整 [7.2.2] ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の仕様</th> <th>塗付量(kg/m²)</th> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>高日射反射塗料</td> <td>2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>反射率</td> <td>1級・2級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>等級</td> <td>3級</td> </tr> </table> <p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない ・適用する(着色剤・溶剤系着色剤・油性染料着色剤) <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>オイルステン塗りの工程等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造所の仕様による 	塗料の種類	塗装面	塗料の種類	工程	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種	塗料の種類 ※1種・2種	木部屋内	※B種	※B種	鉄鋼面	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	A種 ※B種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	A種 ※B種	・耐候性塗料塗り(DP)	亜鉛めっき鋼面	—	—	コンクリート面及び押出成形材の板面	コンクリート面等	※B種	※B種	コンクリート面等	コンクリート面等	※B種	※A種	・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	※A種	屋内の鉄鋼面	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種	屋内の亜鉛めっき鋼面	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	※B種	・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種	A種 ※B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	—	※B種	A種 ※B種	・ステイン塗り	—	—	—	・オイルステン塗り(OS)	—	—	—	・木材保護塗料塗り(WP)	—	※B種	A種 ※B種	工程	塗料の種類	塗料の仕様	塗付量(kg/m ²)	塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射塗料	2種			反射率	1級・2級			等級	3級
塗料の種類	塗装面	塗料の種類	工程																																																																																						
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																						
塗料の種類 ※1種・2種	木部屋内	※B種	※B種																																																																																						
鉄鋼面	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																						
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																						
・クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	A種 ※B種																																																																																						
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	A種 ※B種																																																																																						
・耐候性塗料塗り(DP)	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																						
コンクリート面及び押出成形材の板面	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																						
コンクリート面等	コンクリート面等	※B種	※A種																																																																																						
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																						
屋内の鉄鋼面	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																						
屋内の亜鉛めっき鋼面	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	※B種																																																																																						
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種	A種 ※B種																																																																																						
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	—	※B種	A種 ※B種																																																																																						
・ステイン塗り	—	—	—																																																																																						
・オイルステン塗り(OS)	—	—	—																																																																																						
・木材保護塗料塗り(WP)	—	※B種	A種 ※B種																																																																																						
工程	塗料の種類	塗料の仕様	塗付量(kg/m ²)																																																																																						
塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射塗料	2種																																																																																						
		反射率	1級・2級																																																																																						
		等級	3級																																																																																						
⑧ 耐震改修工事	本工事対象外																																																																																								

9 環境配慮改修工事	1 石綿粉じん濃度測定	<p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>出入口</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の設置の排出口</td> <td>出口吹出し高さ1m以下の位置</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後(隔離)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後(隔離)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後(1週間以降)</td> <td>処理作業室内</td> <td>()点</td> </tr> <tr> <td>測定10</td> <td>処理作業後(1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>()点</td> </tr> </table> <p>さいたま市で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動測定器による測定 測定4.5 ※A 粉じん相対湿度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子粒子自動計測器(デジタルカウンタ)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 ・JIS K 3850-11に基づいた測定 <table border="1"> <tr> <th>測定4.5</th> <th>測定</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> <tr> <td>ろ過ろ紙の直径(mm)</td> <td>25</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>30</td> <td>120</td> <td>240</td> </tr> </table>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	測定1	処理作業前	処理作業室内	各2又は3点()点	測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点	測定3	処理作業中	処理作業室内	各2点()点	測定4	処理作業中	出入口	各1点()点	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の設置の排出口	出口吹出し高さ1m以下の位置	測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点	測定7	処理作業後(隔離)	処理作業室内	各2点()点	測定8	処理作業後(隔離)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	測定9	処理作業後(1週間以降)	処理作業室内	()点	測定10	処理作業後(1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	()点	測定4.5	測定	測定	測定	ろ過ろ紙の直径(mm)	25	47	47	試料の吸引流量(L/min)	5	10	10	試料の吸引時間(min)	30	120	240
	測定時期	測定名称	測定場所	測定点																																																										
	測定1	処理作業前	処理作業室内	各2又は3点()点																																																										
	測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点																																																										
	測定3	処理作業中	処理作業室内	各2点()点																																																										
	測定4	処理作業中	出入口	各1点()点																																																										
	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の設置の排出口	出口吹出し高さ1m以下の位置																																																										
	測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点																																																										
	測定7	処理作業後(隔離)	処理作業室内	各2点()点																																																										
	測定8	処理作業後(隔離)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																										
測定9	処理作業後(1週間以降)	処理作業室内	()点																																																											
測定10	処理作業後(1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	()点																																																											
測定4.5	測定	測定	測定																																																											
ろ過ろ紙の直径(mm)	25	47	47																																																											
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10																																																											
試料の吸引時間(min)	30	120	240																																																											
2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)	本工事対象外																																																													
3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	本工事対象外																																																													
4 石綿含有成形板の除去(レベル3)	<p>除去対象範囲 〇図示</p> <p>石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負担不要)方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールシート等による養生を行う 除去した石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> ○石綿含有せっこうボード <ul style="list-style-type: none"> ※埋立処分(管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 <ul style="list-style-type: none"> ●埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 <ul style="list-style-type: none"> ●埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 																																																													
5 石綿含有建築用仕上塗料等の除去(レベル3)	<p>除去対象範囲 〇図示</p> <p>工事前の試験施工 〇行う ・行わない</p> <p>除去方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.C.B含有シーリング 部 位 図示 分析調査(第一次判定) 箇所数 箇所 ・P.C.B含有シーリング 部 位 図示 分析調査(第二次判定) 箇所数 箇所 <p>詳細は監督員との協議による</p>																																																													
6 PCB含有シーリング材処分	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・P.C.B含有シーリング</td> <td>部 位 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分析調査(第一次判定)</td> <td>箇所数 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P.C.B含有シーリング</td> <td>部 位 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分析調査(第二次判定)</td> <td>箇所数 箇所</td> <td></td> </tr> </table>	種類	採取する部位・箇所数	備考	・P.C.B含有シーリング	部 位 図示		分析調査(第一次判定)	箇所数 箇所		・P.C.B含有シーリング	部 位 図示		分析調査(第二次判定)	箇所数 箇所																																															
種類	採取する部位・箇所数	備考																																																												
・P.C.B含有シーリング	部 位 図示																																																													
分析調査(第一次判定)	箇所数 箇所																																																													
・P.C.B含有シーリング	部 位 図示																																																													
分析調査(第二次判定)	箇所数 箇所																																																													
7 外断熱改修工事 [G]	本工事対象外																																																													
8 断熱・防露改修工事 [G]	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 [9.3.2~4]</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱材打込み工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 厚さ(mm) 25 30 施工箇所 図示 ・断熱材後張り工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法 																																																													
9 屋上緑化改修工事 [G]	本工事対象外																																																													

10 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲: 【武里南小学校: 駐車場】 [9.5.2~5、9]												
	既存舗装の撤去及び再利用 ※図示												
	路床の材料												
	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	種 別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示
	種 別	材 料	厚さ(mm)										
	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示										
	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示										
	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示										
	(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)												
	・行う ・行わない												
<ul style="list-style-type: none"> ・路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 () 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号・1号) () kg/m³ (目標CBR ※3以上) 添加量 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻³ cm/sec以上 													
試験													
<ul style="list-style-type: none"> 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 六価コロム溶出試験 ・行う ・行わない 													
路盤													
<ul style="list-style-type: none"> 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン [G] ・再生粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G] <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 舗装の平坦性 ※着しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 													
濁水の処理													
<ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 種類及び処理量 ・図示による 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 <p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 <p>提出書類等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 													
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)													

目付	工事名称	図面No.
	中学校等避難所空調設備設置工事(緑中学校)	
縮尺	図面名称	共通-04
一	特記仕様書 4	

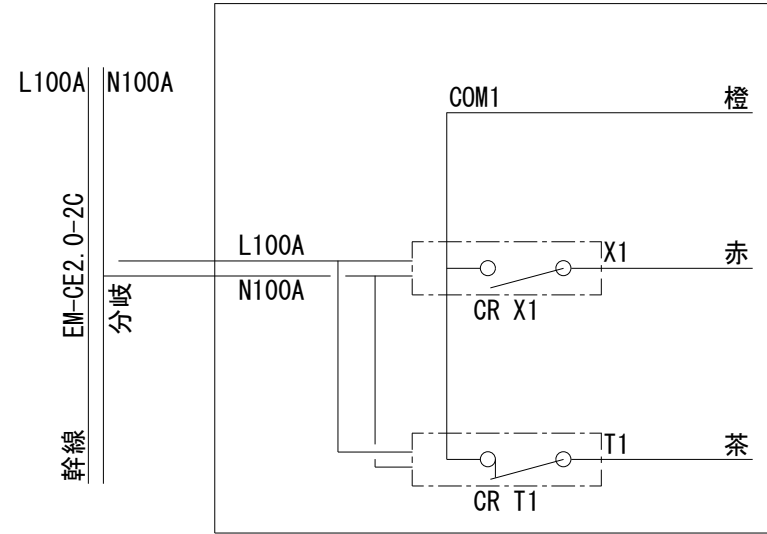
⑩ 鉄筋工事 1 鉄筋 (5.2.1) 2 溶接金網 (5.2.2) 3 鉄筋の継手 (5.2.4) 4 鉄筋の定着 (5.3.4) 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) 6 各部配筋 (5.3.7) 7 ガス圧接 8 機械式継手 9 溶接継手	鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> 形状等 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td>6×150×150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・溶接継手 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・重ね継手 ・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> 継手位置 ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1. 6.1. 7.1. 7.3. 8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ※図5.2 ※図5.3 ※図5.4 ※図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) ※図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) ※図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一面所に設ける部分の位置及び施工方法等 ※図示による () 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※図示による () 機械式定着工法 適用箇所 () ※図示による () 種類 ・麻擦圧接接合 ・板合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1) ※図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () ・なし 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・なし 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	SD295	※ D16以下		SD345	※ D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	溶接金網		6×150×150		鉄筋格子				部位	継手方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・溶接継手 ・重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接		その他の鉄筋	・重ね継手		1 コンクリートの種類等 (6.2.1) 2 セメント (6.3.1) 3 骨材 (6.3.1) 4 混和材料 (6.3.1) 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 6 湿潤養生 (6.7.2) 7 コンクリートの仕上り (6.2.5) (6.8.2) 8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 9 型枠 (6.8.2) 10 軽量コンクリート 11 寒中コンクリート 12 暑中コンクリート 13 マスコンクリート 14 無筋コンクリート 15 コンクリートの単位水量測定 (6.8.4)	⑪ 土工事 1 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 2 建設発生土の処理 (3.2.5) 3 山留めの撤去 (3.3.3) 14 金属工事 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2) 3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1) 4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3, 4) (表14.5.1) 5 金属成形板張り (14.6.2, 3) (表14.2.1) 6 アルミニウム製畳木 19 断熱材 (19.9.2~4) 20 エニツト及びその他工事 (20.3.2~4)	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2, 3) 22 舗装工事 1 路床 (22.2.2, 3~5) (表22.2.1) 2 路盤 (22.3.2, 3) (表22.3.1) 3 アスファルト舗装 (22.4.2~4, 6) (表22.4.1, 4) 4 コンクリート舗装 (22.5.2~4) (表22.5.1~3) 6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2, 3, 6)	材料 ・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩 ・コンクリート間知ブロック 積み方 ※谷積み ※布積み 目張り ・図示 伸縮調整目地 材料 ・図示 厚さ ・図示 路床の材料 (22.2.2, 3~5) (表22.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 路床安定処理 安定処理の方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・消石灰 (特号・1号) ・生石灰 (特号・1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR・3以上) ・繊維布 (ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻³ cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う 路床土の支持力 (CBR) 試験 ・行う (箇所) 現場CBR試験 ・行う (箇所) 安定処理土のCBR試験 ・行う 路床締固め度の試験 ・行う (箇所) 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 路盤及び厚さ ※図示 路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種別) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石</td> </tr> </table> ・クラッシュラン鉄線スラグ ・粒度調整鉄線スラグ ・水硬性粒度調整鉄線スラグ アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.4.2~4, 6) (表22.4.1, 4) 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト ・ストリートアスファルト 骨材 ・アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 構成及び厚さ (22.5.2~4) (表22.5.1~3) <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>※図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・歩行者用通路</td> <td>※図示</td> <td>※70</td> </tr> </table> 材料 コンクリート ※普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 ・設計基準強度 (N/mm ²) ・所定のスラブ (cm) ※8 骨材の最大寸法 (mm) ・使用する ・使用しない 注目地材料 ※低弾性タイプ ※高弾性タイプ 目地 種類 ※標準仕様書表22.5.3による 間隔 ※標準仕様書表22.5.3による m程度ごと 構造 ※標準仕様書表22.5.1による ※図示 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.7.2, 3, 6) 材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 (標準仕様書表22.4.1による種別: ・60~80 ・80~100) 舗装の平坦性 ※着しい不陸がないもの 試験 間隔度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 透水性コンクリート舗装 コンクリート舗装に対する基準値 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> <tr> <td>最大粒径 (mm)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>20以上</td> </tr> <tr> <td>透水係数 (cm/s)</td> <td>1×10⁻²以上</td> </tr> <tr> <td>目地の間隔</td> <td>版厚の20倍程度</td> </tr> </table> 構成、厚さはコンクリート舗装による ・繊維布 (ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間の敷設 ・図示 透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2, 3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による 透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2, 3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による	種別	材料	厚さ (mm)	盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示	凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示	フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示	種別	材料	砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	・再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示		・歩行者用通路	※図示	※70	項目	基準値	最大粒径 (mm)	13	空隙率 (%)	20以上	透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上	目地の間隔	版厚の20倍程度	日付 工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (緑中学校) 図面No. 共通-05 縮尺 図面名称 特記仕様書5
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																															
	SD295	※ D16以下																																																																																
	SD345	※ D19以上																																																																																
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																														
	溶接金網		6×150×150																																																																															
	鉄筋格子																																																																																	
	部位	継手方法	呼び径 (mm)																																																																															
	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手	※ D19以上																																																																															
	耐力壁の鉄筋	・溶接継手 ・重ね継手																																																																																
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接																																																																																	
その他の鉄筋	・重ね継手																																																																																	
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																
盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示																																																																																
凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示																																																																																
フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																																
種別	材料																																																																																	
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																																																																																	
再生材	・再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石																																																																																	
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																															
コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示																																																																															
	・歩行者用通路	※図示	※70																																																																															
項目	基準値																																																																																	
最大粒径 (mm)	13																																																																																	
空隙率 (%)	20以上																																																																																	
透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上																																																																																	
目地の間隔	版厚の20倍程度																																																																																	

● 空気調和設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期 36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期 0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	28℃	9%	冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・IXとし範囲は図示による）</p> <p>8 試運転調整 風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>
	外 気		屋 内																								
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																						
夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	28℃	9%																						
冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%																						
② 総合試運転調整	<p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない</p> <p>3 煙 道 10 ダンパー</p>	● 換気設備																									
● 空気調和設備	③ 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（SXDのACI'レハ'イ'相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p>	<p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p>	● 換気設備																							
	④ 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>12 井 類 17 冷却塔</p>	● 換気設備																								
● 空気調和設備	⑤ 自動制御	<p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能 図示による</p> <p>3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>A 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。</p>	● 自動制御																								
● 空気調和設備	○ 排水設備	<p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td> 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 </td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td> 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カクハド 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 </td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td> 地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP </td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td> 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 </td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VVP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。</p> <p>2 洗面器等の排水管</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による</p>	施工箇所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カクハド 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共通	地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 排水設備														
施工箇所	管 種 別																										
雑排水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										
汚水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カクハド 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										
共通	地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP																										
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										

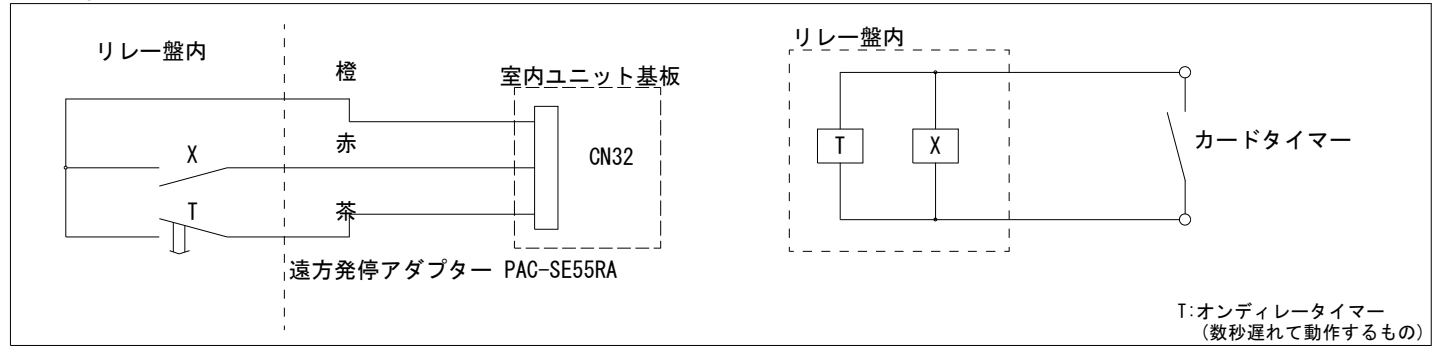
		参考工程表																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
工 事 項 目	月 日	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)			
学校運営		学校運営																																			
契約		契約																																			
書類作成		書類作成																																			
準備工事		準備工事																																			
共通仮設工事		共通仮設工事																																			
空調設備工事		空調設備工事																																			
空調設備工事に伴う建築設備工事		空調設備工事に伴う建築設備工事																																			
空調設備工事		空調設備工事																																			
空調設備工事		空調設備工事																																			
アリーナLED化工事		アリーナLED化工事																																			
建築改修工事		建築改修工事																																			
受電設備工事		受電設備工事																																			
検査		検査																																			

この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。
この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。
設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。

リレー盤



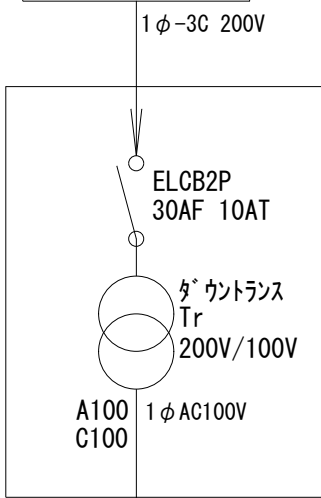
<配線図>



プリペイドカードを入れるとエアコンは運転、タイマーONの間のみリモコン操作を可能とする設定

T:オンディレイタイマー
(数秒遅れて動作するもの)

空調用動力盤



[動作]

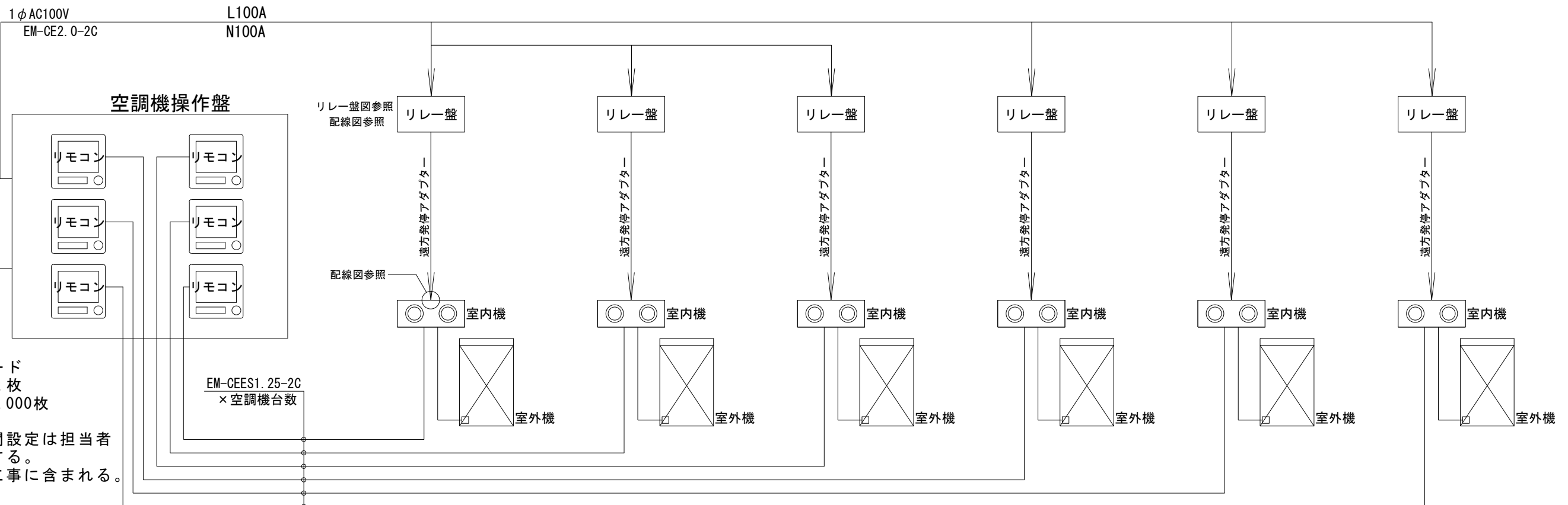
カードタイマー接点 オンディレイタイマー接点	状態	手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
ON	タイマー制御/運転開始→	許可	許可
OFF(数秒遅れ)	リモコン制御	(オンディレイタイマー接点OFF後)	
OFF	タイマー制御/停止	禁止	停止
ON			

停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。

カードタイマー運転フロー

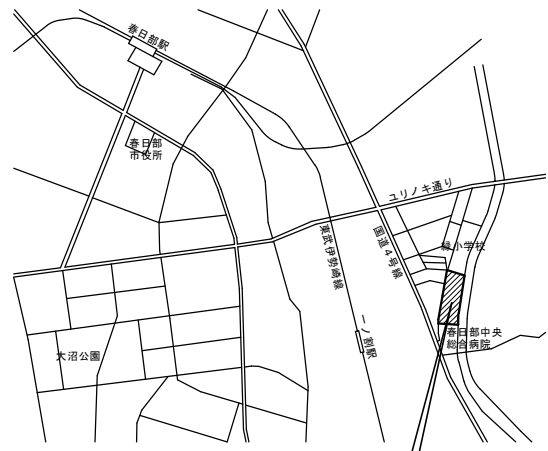
- ① カードタイマーにカードを差し込む
カードタイマーに設定された度数が引き落とされる。カードタイマーからカードが自動で出てくる。連続でカードを抜き差しすると設定された度数がその回数分、引き落とされ、カードタイマーに加算される。カードタイマーに引き落とされた度数の清算はできない。
- ② 自動で全空調が稼働する。
設定(冷暖房、温度、風量)は前利用した運転時の設定を引き継ぐ。リモコンの操作ロックが解除される。リモコンで運転OFFにできるが、カードタイマーの残数は減り続ける。
- ③ カードタイマーの残数が0になると全空調が停止する。リモコンの操作はロックされる。

空調機操作盤



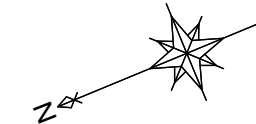
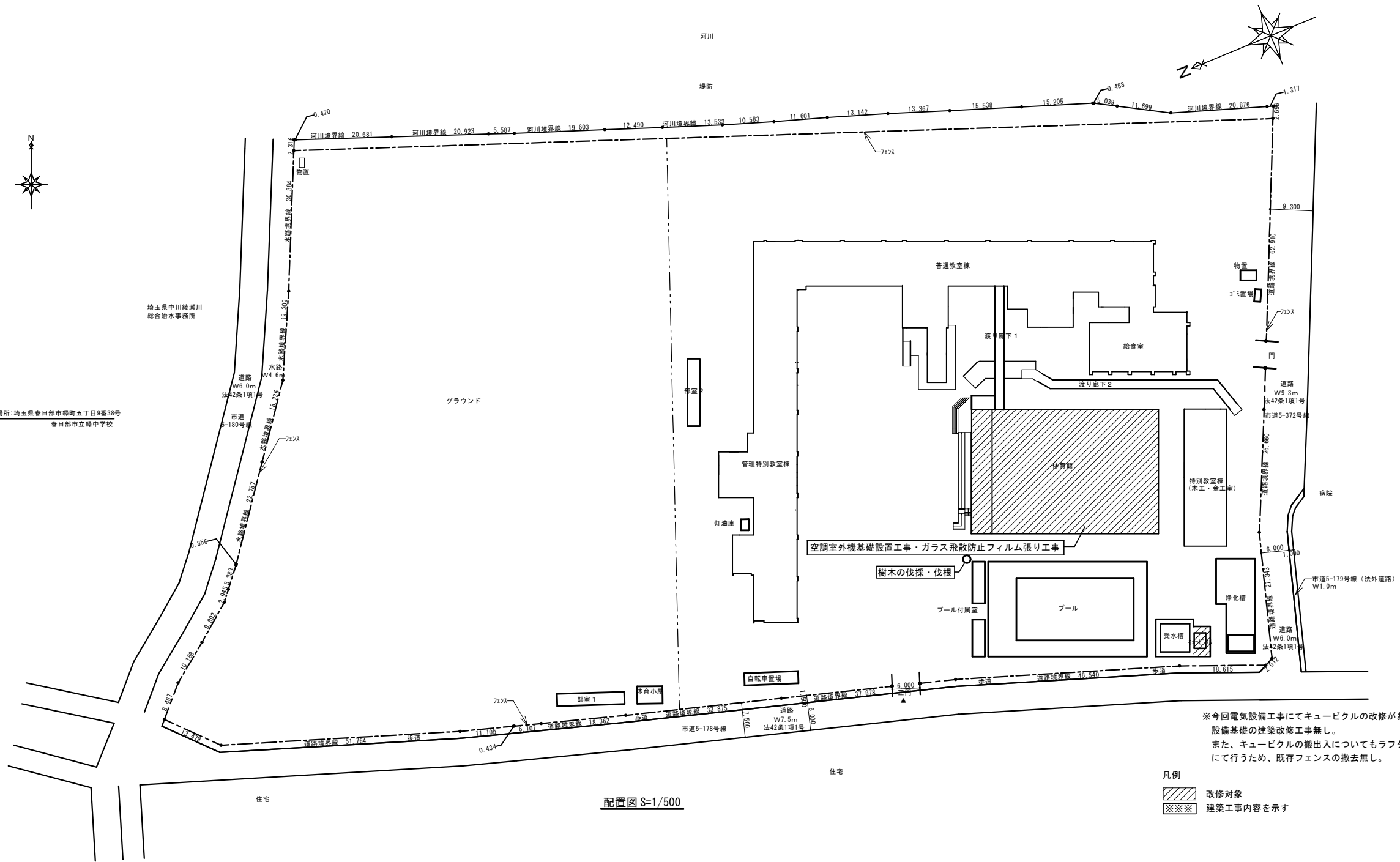
カードタイマー用カード
管理用カード 2枚
プリペイドカード 3,000枚

カウント当りの時間設定は担当者と協議により決定する。
カードの納品は本工事に含まれる。



工事場所：埼玉県春日部市緑町五丁目9番38号
春日部市立緑中学校

案内図



※今回電気設備工事にてキュービクルの改修があるが、設備基礎の建築改修工事無し。
また、キュービクルの撤出入についてもラフター車にて行うため、既存フェンスの撤去無し。

- 凡例
- 改修対象
 - 建築工事内容を示す

配置図 S=1/500

	春日部市 学校教育施設課		日付 2024.02.16 縮尺 A1 1/500 A3 1/1000	工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事（緑中学校） 図面名称 案内図・配置図	図面No. A-01
--	-----------------	--	---	--	------------

外部仕上表：体育館

部 位	仕 上	備 考
屋 根	木毛セメント板t25、アスファルトルーフィング25kg、長尺カラー鉄板瓦棒葺の上、発泡ポリスチレンt40、フッ素ガルバニウム鋼板嵌合式瓦棒葺きt4.0、ポリエチレンフォーム t 4.0	
外 壁	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板角スパンドレルt0.5（防火構造：PC030NE-0030）	
外巾木	モルタル金ゴテの上、複層塗材E（トップコートのみ）	
柱 型	DP	
軒 天	珪酸カルシウム板t6.0 EP-G 不燃材（不燃番号：NM-1217）	既存仕上げ 1000×950 撤去・同材同仕上げにて新設 計6箇所（機械設備 配管工用）
樋	軒樋：長尺亜鉛引カラー鉄板の上 耐酸被覆鋼板t0.5、 縦樋：カラーV.P管 φ100・φ125	
外 構	樹木 1箇所 伐採・伐根	

内部仕上表：体育館（アリーナの一部建具のみ改修を行う）

階	室名	床		巾木		壁		天井				備 考
		仕上	下地	仕上	高さ	仕上	下地	仕上	下地	廻縁	高さ	
1	アリーナ	耐水合板t15の上、イタヤフローリングt18	W	ラワンt24 OS 一部、桐t24 OS	100 100	上部：ラワン合板t9 目透し貼り OS 下部：ラワン合板t12 目透し貼り OS	LGS	断熱木毛セメント板t25	-	-	直天	ガラス面：飛散防止フィルム新設
	ステージ	耐水合板t15の上、イタヤフローリングt18	W	桐t24 OS	100	ラワン合板t9 目透し貼り OS	LGS	断熱木毛セメント板t25	-	-	直天	
	控室A・B	耐水合板t15の上、イタヤフローリングt18	W	桐t24 OS	100	ラワン合板t9 目透し貼り OS	LGS	有孔石膏ボードt9 目透し貼り EP	LGS	塩ビ製	4250	
	放送室	耐水合板t15の上、カバフローリングt18	W	ラワンt24 OS	100	有孔シナ合板t6 目透し貼り OP(ガラスウール充填t25)	LGS	GB-R t9.5の上、DR t9	LGS	塩ビ製	2430	
	玄関	長尺塩ビシートt2.0 踏込：100角磁器質タイル貼り	RC	桐t24 EP-G	100	GB-R t12.5の上、化粧珪酸カルシウム貼りt6	LGS	GB-D t9.5	LGS	塩ビ製	2430	
	男子更衣室	長尺塩ビシートt2.0 シャワ-室：シタ'-コンクリ-тт100	RC	桐t24 EP-G	100	GB-R t12.5の上、化粧珪酸カルシウム貼りt6	LGS	GB-D t9.5	LGS	塩ビ製	2430	
	女子更衣室	長尺塩ビシートt2.0 シャワ-室：シタ'-コンクリ-тт100	RC	桐t24 EP-G	100	GB-R t12.5の上、化粧珪酸カルシウム貼りt6	LGS	GB-D t9.5	LGS	塩ビ製	2430	
	男子便所	シタ'-コンクリ-тт100 金銀押さえの上防滑長尺塩ビシート貼 t 2.0	RC	長尺塩ビシート立上げ	100	GB-S t12.5の上、マシシ不燃化粧版貼りt3	LGS	GB-D t9.5	LGS	アルミ製	2430	
	女子便所	シタ'-コンクリ-тт100 金銀押さえの上防滑長尺塩ビシート貼 t 2.0	RC	長尺塩ビシート立上げ	100	GB-S t12.5の上、マシシ不燃化粧版貼りt3	LGS	GB-D t9.5	LGS	アルミ製	2430	
	前室A・B	長尺塩ビシートt2.0	RC	桐t24 EP-G	100	GB-R t12.5の上、化粧珪酸カルシウム貼りt6	LGS	GB-D t9.5	LGS	塩ビ製	2430	
	身障者便所	防滑長尺塩ビシートt2.0	RC	長尺塩ビシート立上げ	300	GB-S t12.5の上、マシシ不燃化粧版貼りt3	LGS	GB-D t9.5	LGS	アルミ製	2430	
器具庫	長尺塩ビシートt2.0	RC	ラワンt24 OS	100	ラワン合板t12 目透し貼り EP-G	LGS	断熱木毛セメント板t25	LGS	-	直天		
ギャラリー	ビニル床シート	RC	ラワンt24 OS	100	梁隠し部：DR(リブ付)t15 EP 腰壁：ラワン合板t12 目透し貼り OS	LGS	珪酸カルシウム板t6 EP-G	LGS	塩ビ製	5000		

【下地凡例】

- ・RC：コンクリート
- ・CB：コンクリートブロック
- ・LGS：軽量鉄骨
- ・W：木製

【塗装凡例】

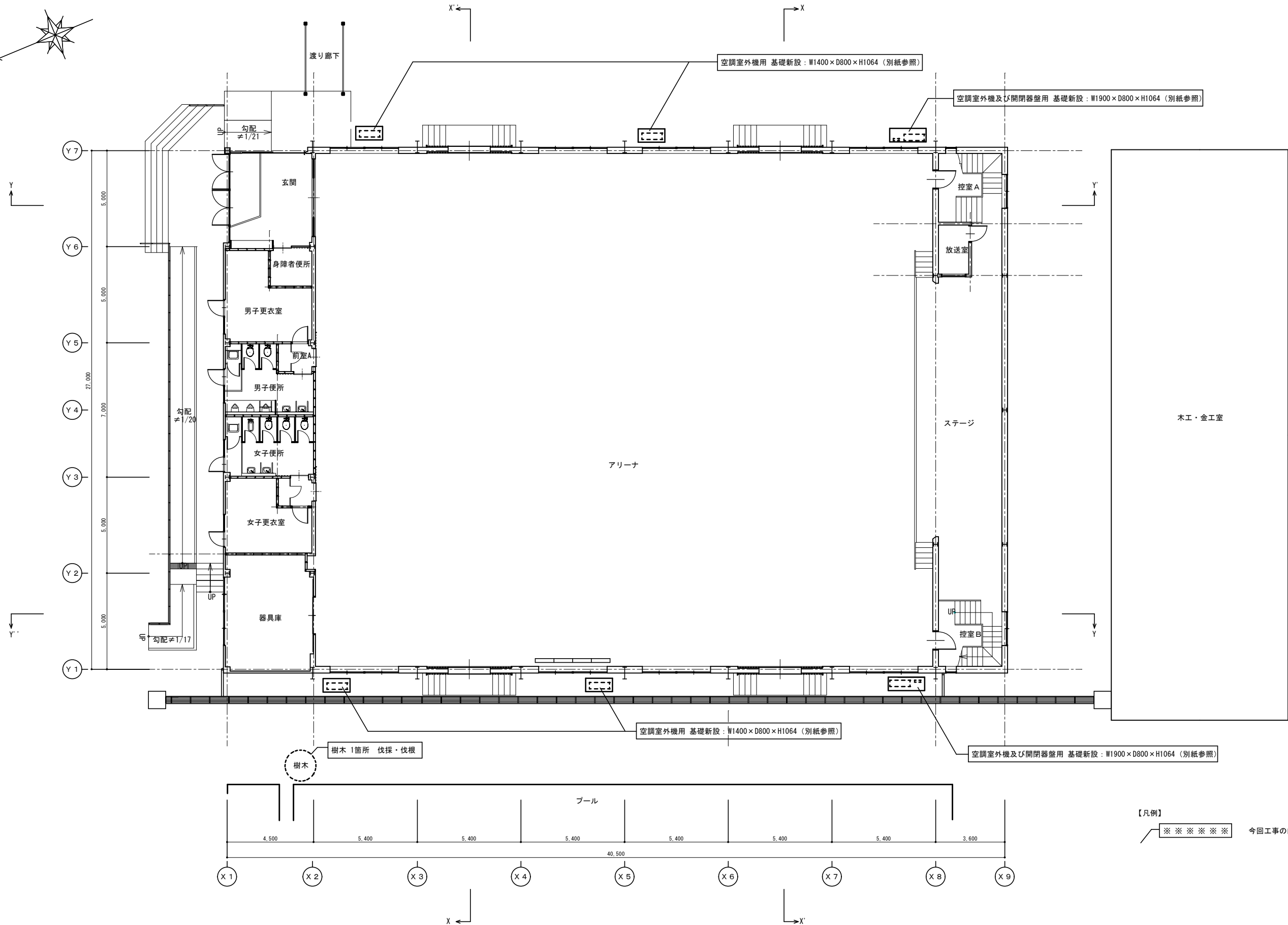
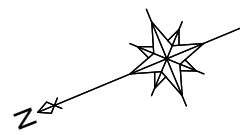
- DP：耐候性塗料塗り
- EP：合成樹脂エマルジョンペイント塗り
- EP-G：つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
- CL：クリアラッカー塗り
- UC：ウレタン樹脂ワニス塗り

【認定記号・番号】

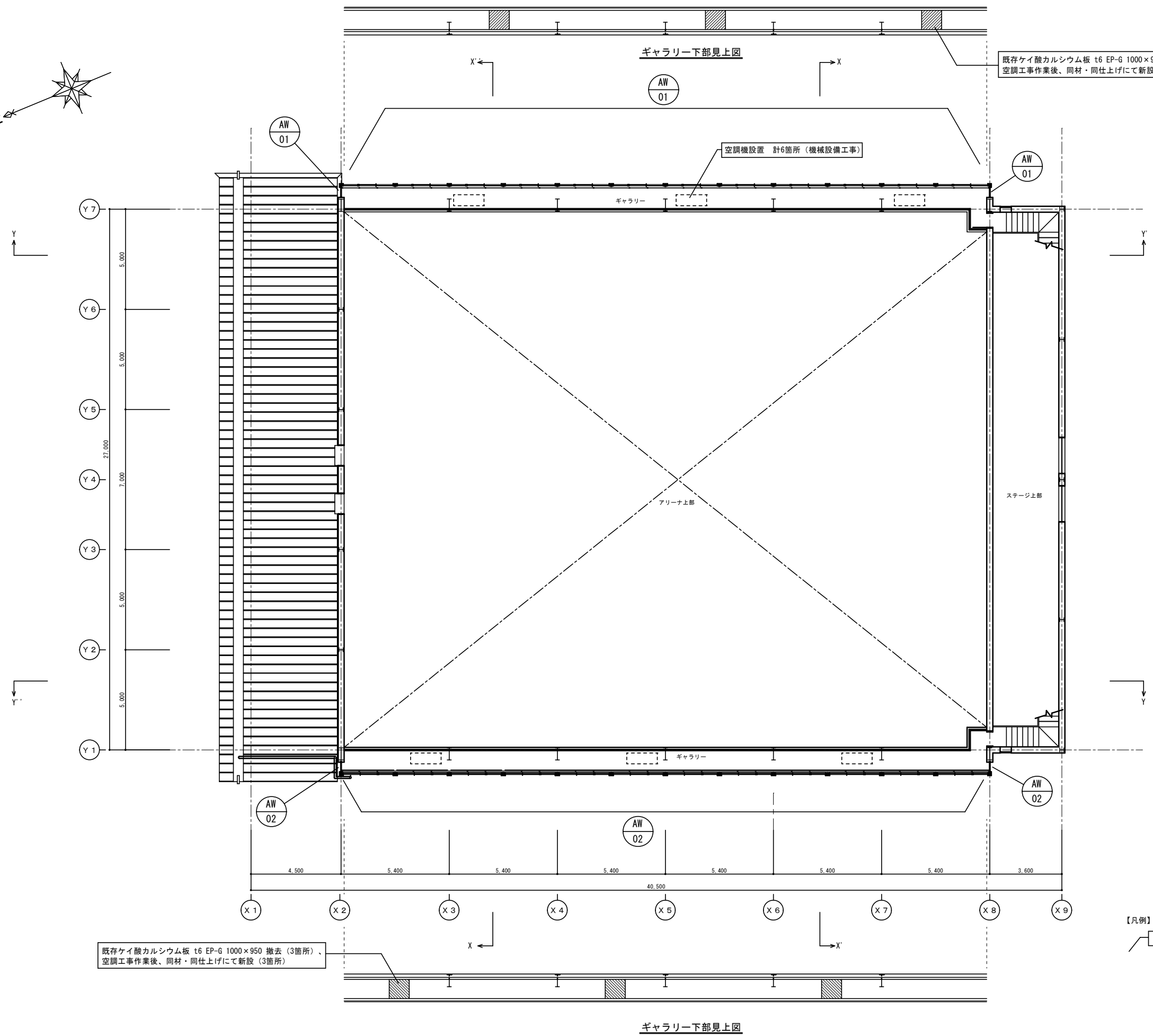
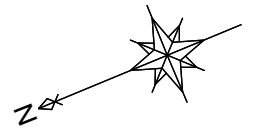
- ・GB-R 石こうボード
- ・" "
- ・GB-D 化粧石こうボード
- ・DR 岩綿吸音板

今回工事内容を示す

※今回工事での建築工事に係る部分において、アスベスト含有建材なし。



【凡例】
 ※※※※※ 今回工事の内容を示す

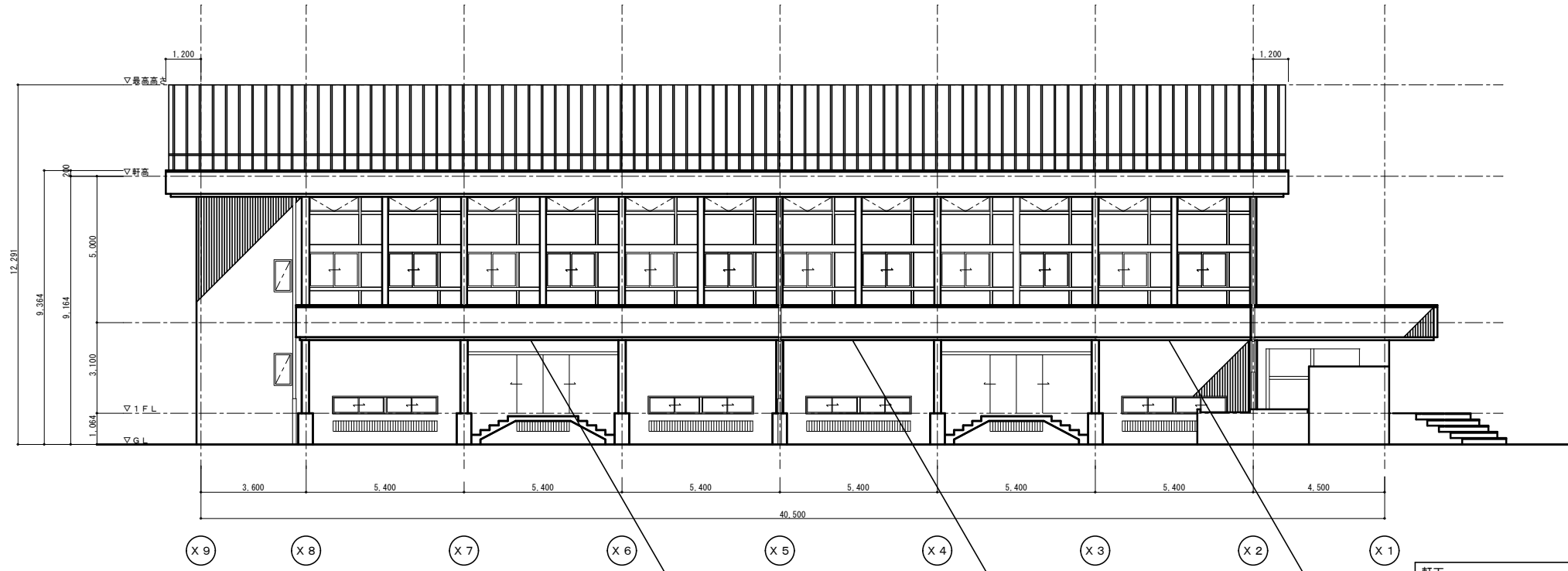


既存ケイ酸カルシウム板 t6 EP-G 1000×950 撤去 (3箇所)、
空調工事作業後、同材・同仕上げにて新設 (3箇所)

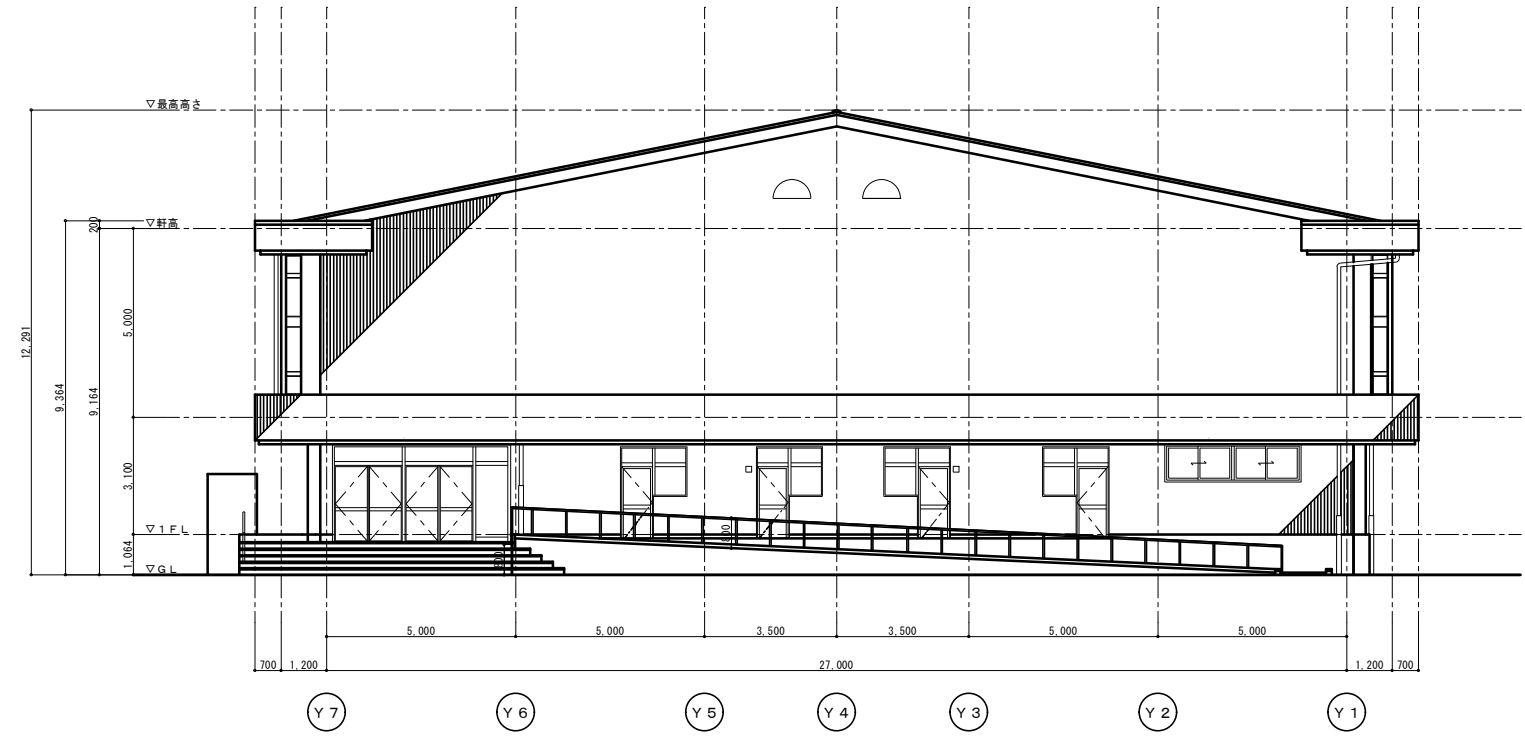
空調機設置 計6箇所 (機械設備工事)

既存ケイ酸カルシウム板 t6 EP-G 1000×950 撤去 (3箇所)、
空調工事作業後、同材・同仕上げにて新設 (3箇所)

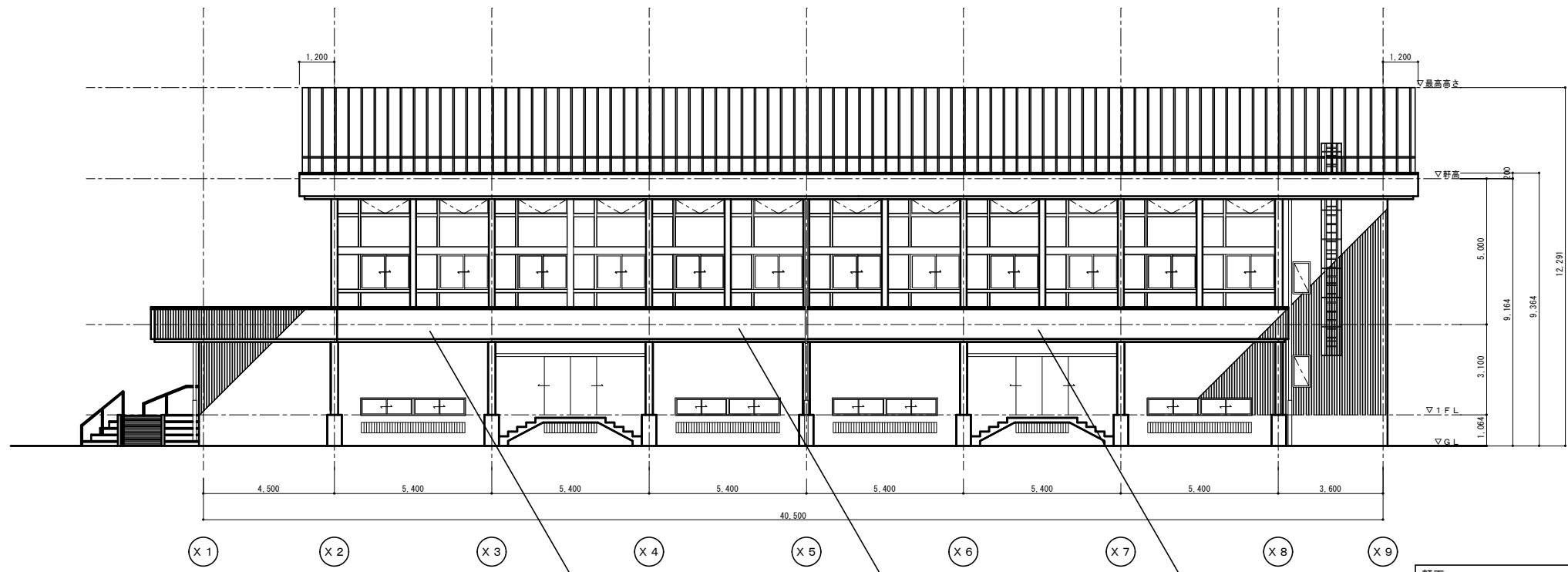
- 【凡例】
- ※※※※※※ 今回工事の内容を示す
 - AW 01 建具記号を示す



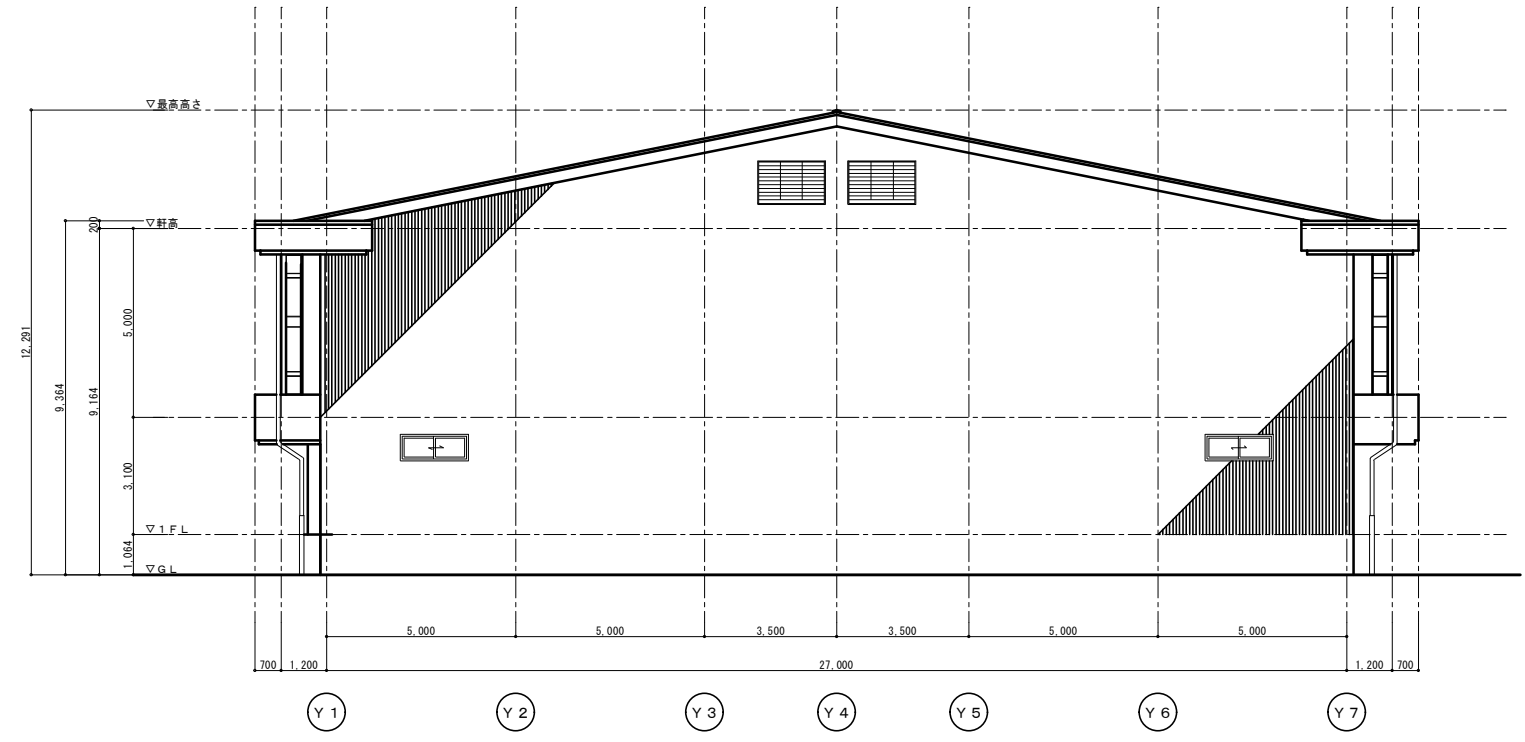
軒天
 既存ケイ酸カルシウム板 t6 EP-G 1000×950 撤去 (3箇所)、
 空調工事作業後、同材・同仕上げて新設 (3箇所)

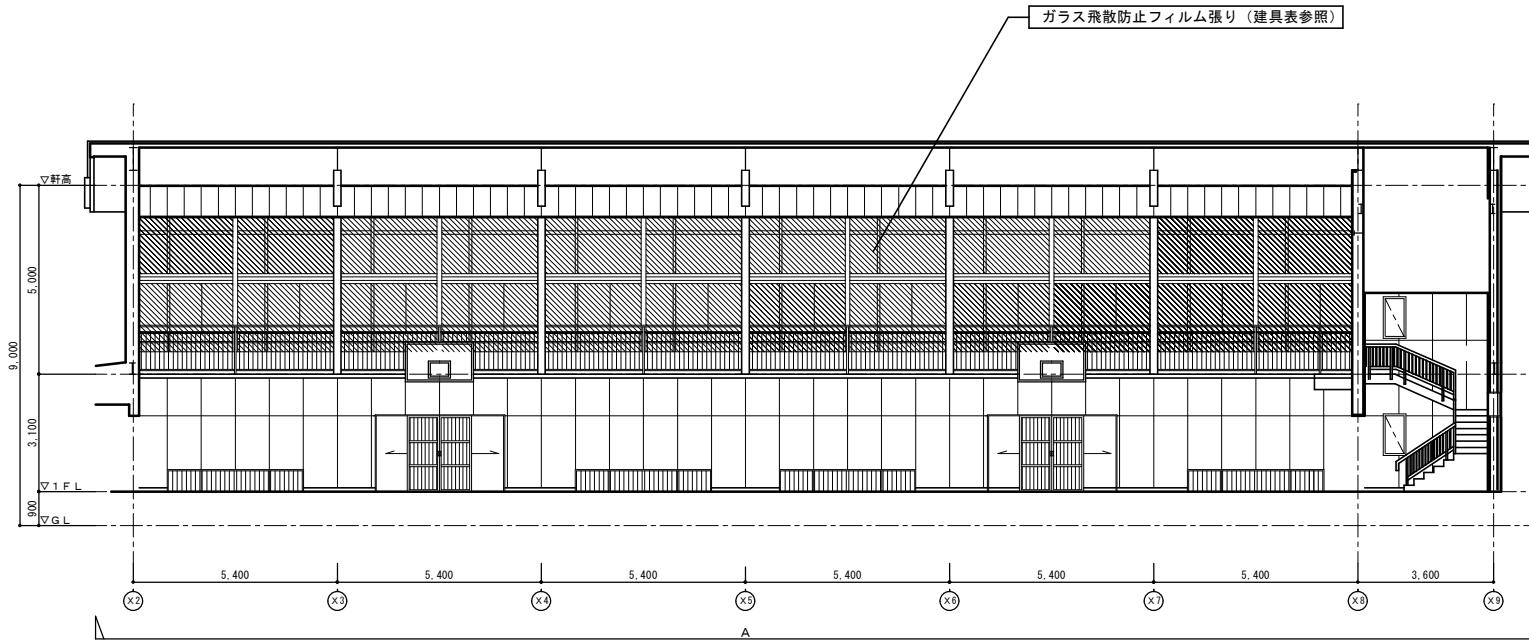


【凡例】
 ※※※※※※※※※※ 今回工事の内容を示す

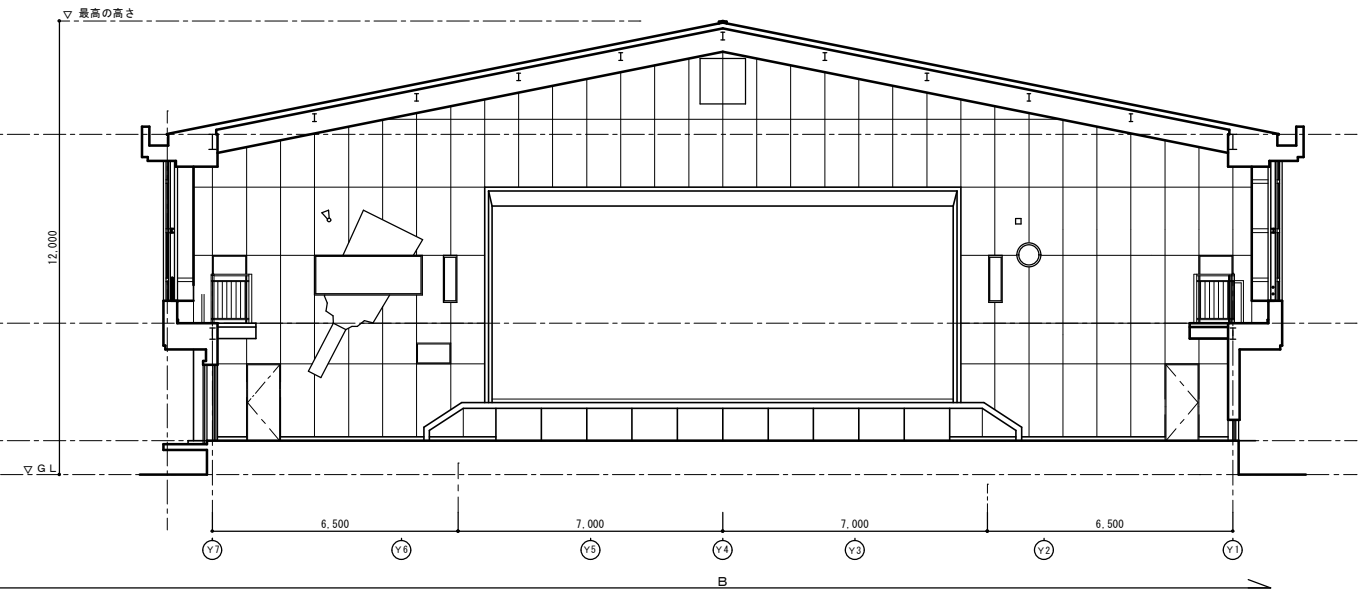


軒天
 既存ケイ酸カルシウム板 t6 EP-G 1000×950 撤去（3箇所）、
 空調工事後、同材・同仕上げにて新設（3箇所）

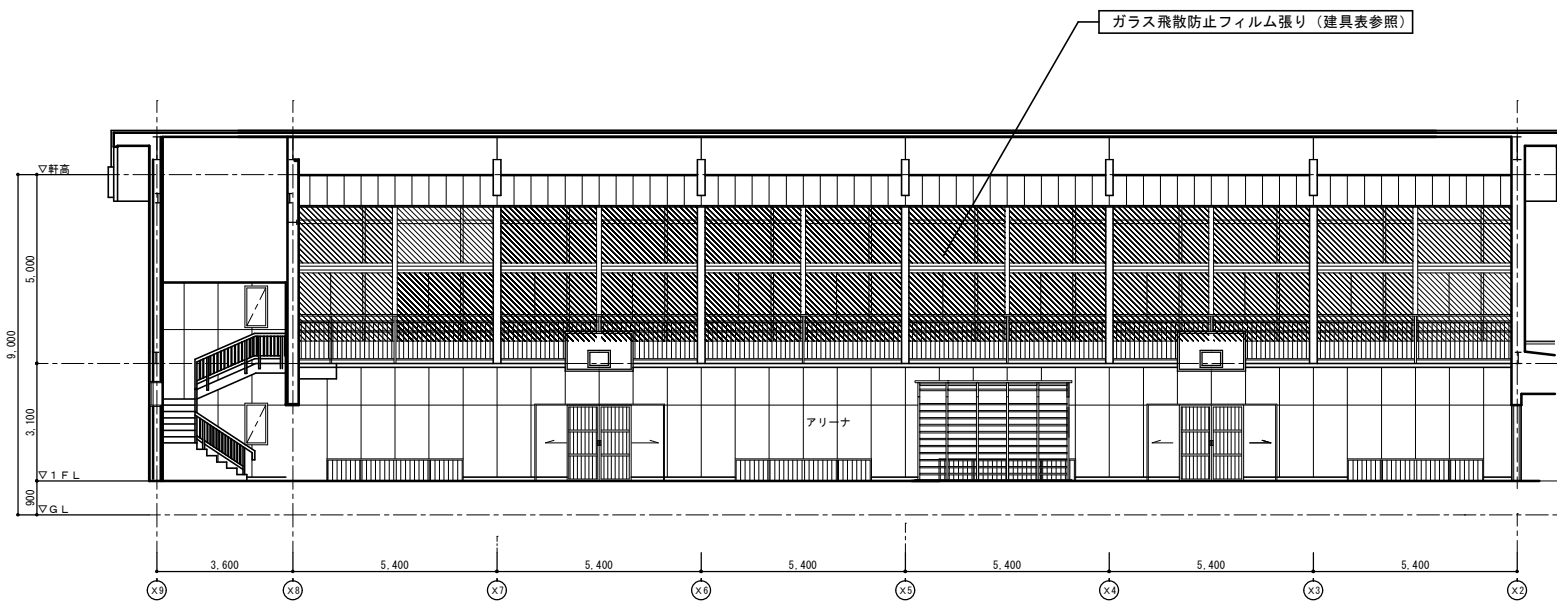




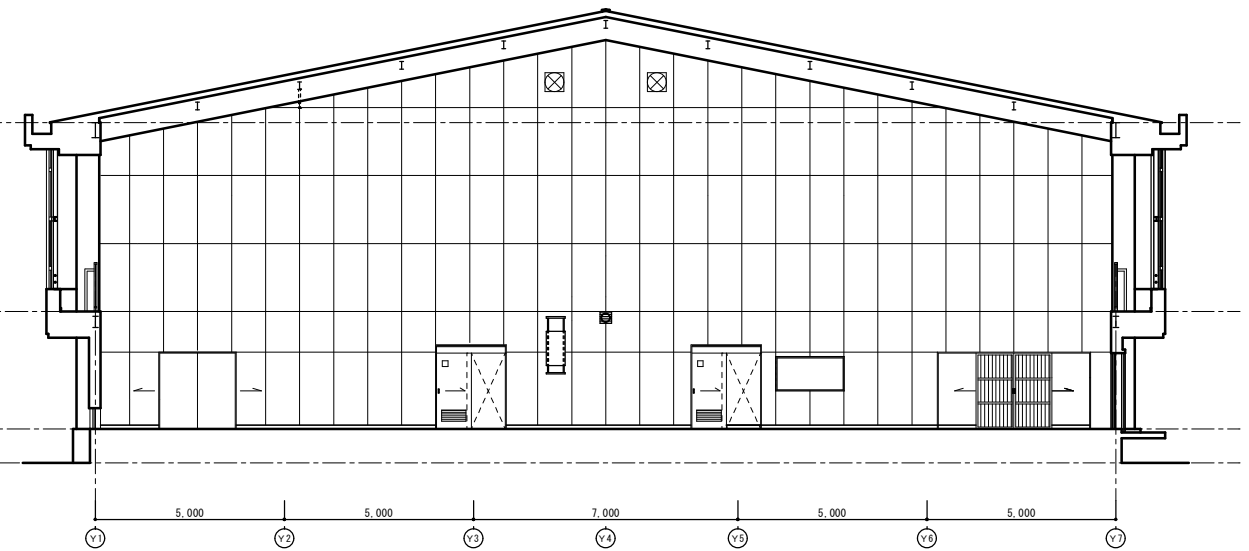
Y - Y' 断面図



X - X' 断面図


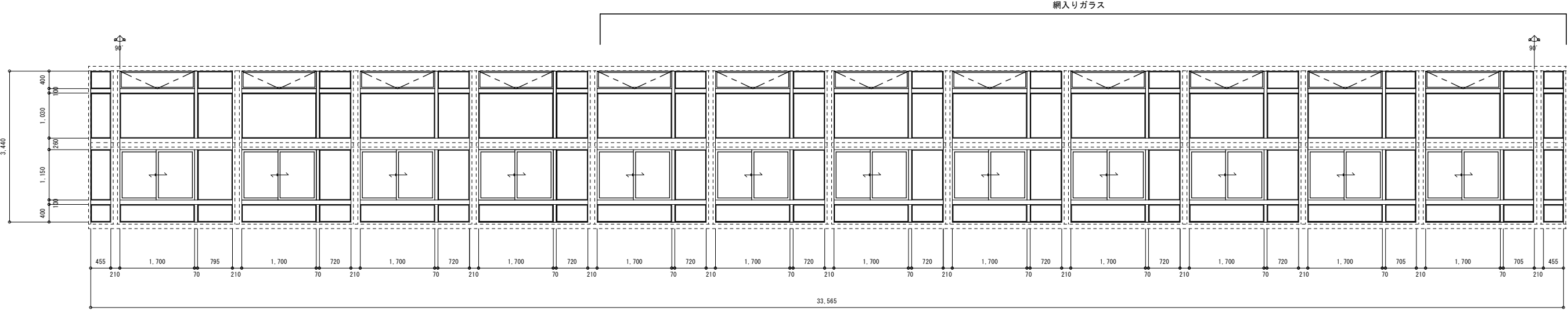

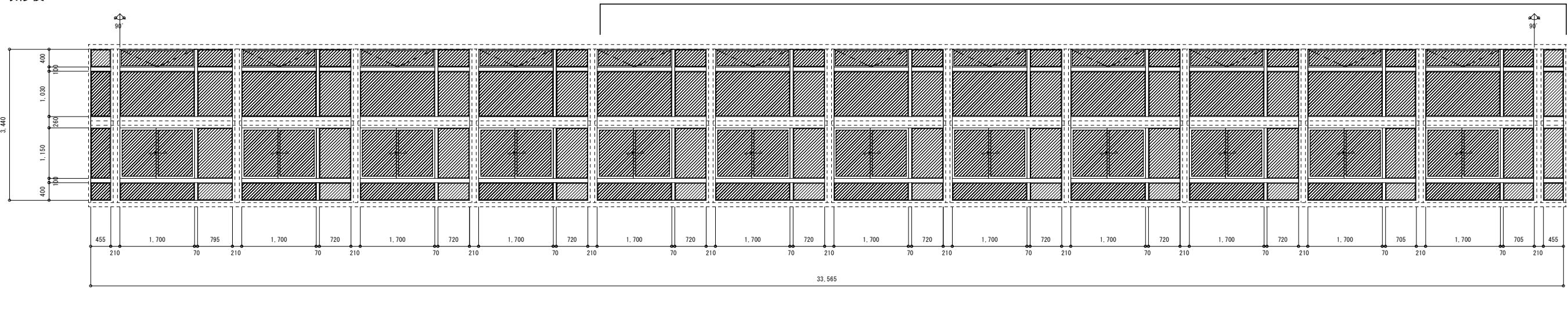



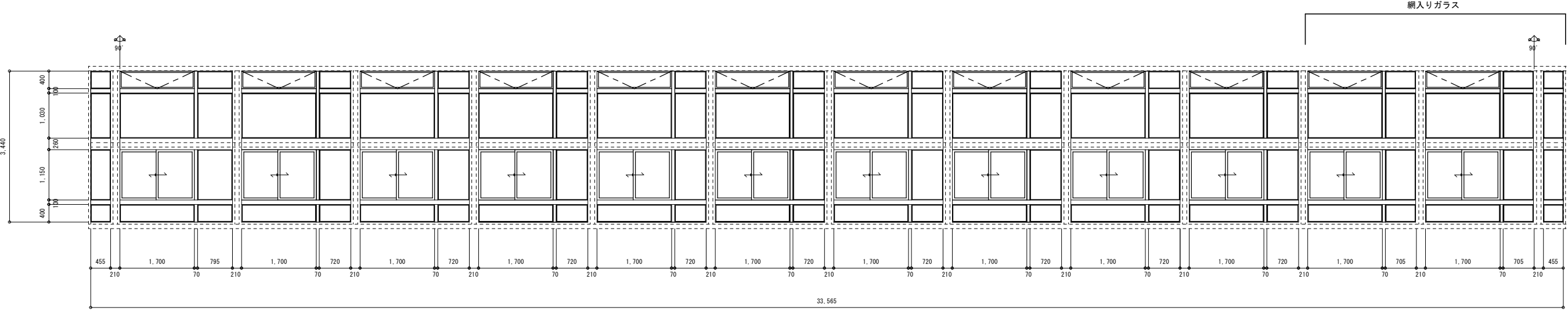

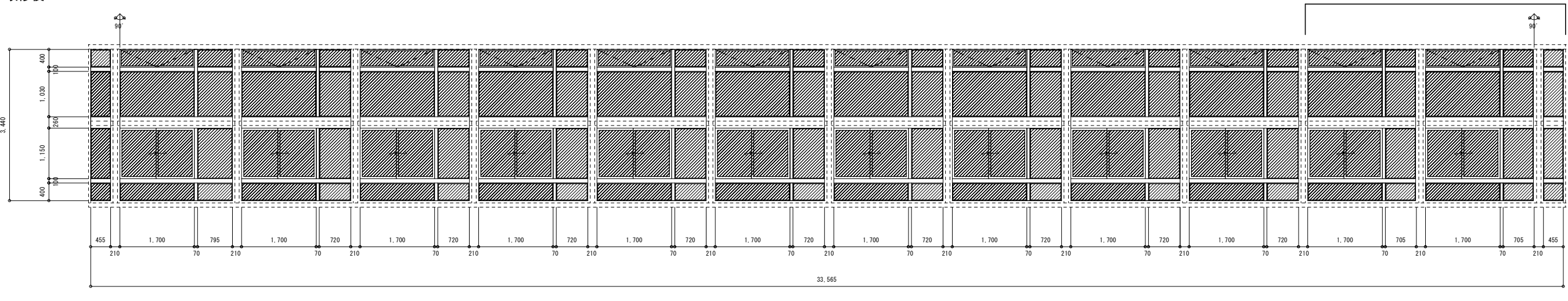
Y - Y' 断面図



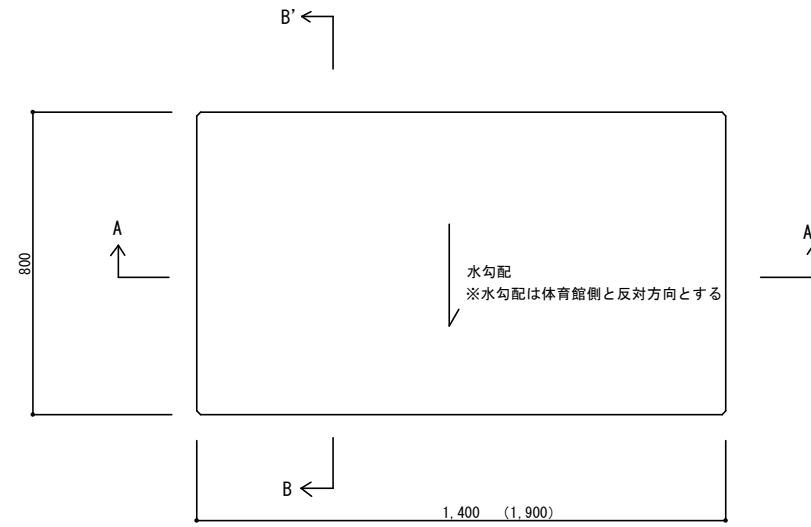
X - X' 断面図

- 【凡例】
- ※※※※※ 今回工事の内容を示す
 - ガラス飛散防止フィルム張り (建具表参照)

記号・数量・室名	 ×1 アリーナ上部		
<p>改修前</p> <p>図</p>			
改修方法	-		
性能・形式・開閉 施解錠	連続引違い窓		
寸法・見込	W33,565×H3,440 見込み：70		
仕上	アルミニウム耐融合金		
ガラス	学校用強化ガラス t4 (透明) / 網入りガラス t6.8 (透明)		
取合	額縁4方、水切板		
付属金物	付属金物一式		
記号・数量・室名	 ×1 アリーナ上部		
<p>改修後</p> <p>図</p>			
改修方法	飛散防止フィルム内張り 全厚76 μ m (メーカー・品名：3M NANOS70S、不燃認定番号：NM-2949-1 同等品)、 網入りガラス部分：飛散防止フィルム内張り 全厚76 μ m (メーカー・品名：3M NANOS90S、不燃認定番号：NM-2141 同等品)		
性能・形式・開閉 施解錠	連続引違い窓		
寸法・見込	既存のまま		
仕上	既存のまま		
ガラス	既存のまま		
取合	既存のまま		
付属金物	既存のまま		
		<p>春日市 学校教育課</p>	<p>日付 2024.02.16</p> <p>工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (緑中学校)</p> <p>縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100</p> <p>図面名称 建具表 1</p> <p>図面No. A-08</p>

記号・数量・室名	 ×1 アリーナ上部	
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">図</div> <div style="margin: 0 10px;">改修前</div> </div>		
改修方法	-	
性能・形式・開閉 施解錠	連続引違い窓	
寸法・見込	W33,565×H3,440 見込み:70	
仕上	アルミニウム耐腐合金	
ガラス	学校用強化ガラス t4 (透明) / 網入りガラス t6.8 (透明)	
取合	額縁4方、水切板	
付属金物	付属金物一式	
記号・数量・室名	 ×1 アリーナ上部	
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">図</div> <div style="margin: 0 10px;">改修後</div> </div>		
改修方法	飛散防止フィルム内張り 全厚76 μ m (メーカー・品名: 3M NANOS80S 同等品)、 網入りガラス部分: 飛散防止フィルム内張り 全厚76 μ m (メーカー・品名: 3M NANOS90S 同等品)	
性能・形式・開閉 施解錠	連続引違い窓	
寸法・見込	既存のまま	
仕上	既存のまま	
ガラス	既存のまま	
取合	既存のまま	
付属金物	既存のまま	
		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="1543 1963 1676 2016"> 春日市 学校教育課 </div> <div data-bbox="2151 1963 2270 2026"> 日付 2024.02.16 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 </div> <div data-bbox="2285 1963 2834 2026"> 工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (緑中学校) 図面名称 建具表 2 </div> <div data-bbox="2834 1963 2893 2016"> 図面No. A-09 </div> </div>

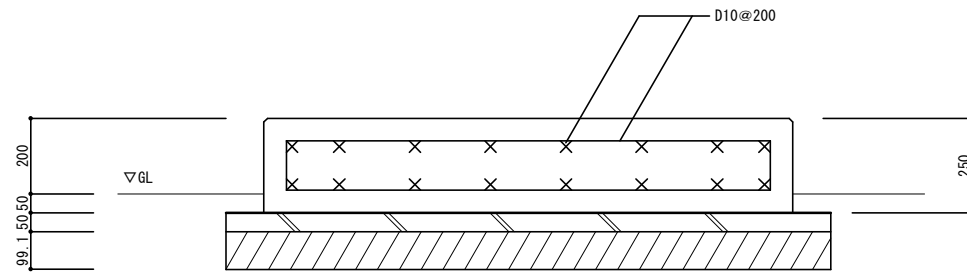
■設備基礎 詳細図



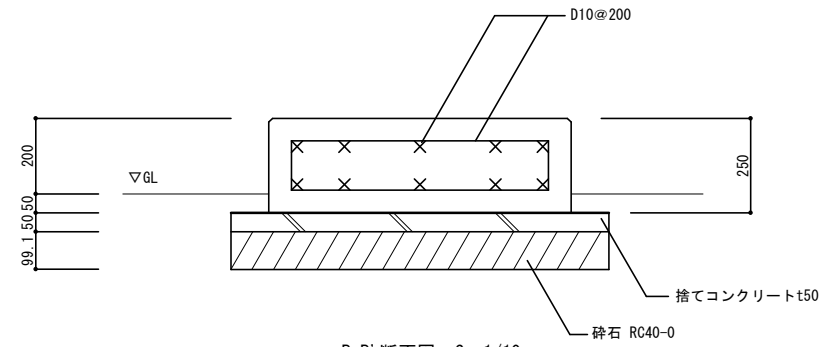
※ () 内の寸法は、電気設備用と機械設備用の基礎の場合とする

設備基礎平面図 S=1/10

備考
全ての角を面取りすること。打継ぎ部には誘発目地を設けること。



A-A' 断面図 S=1/10

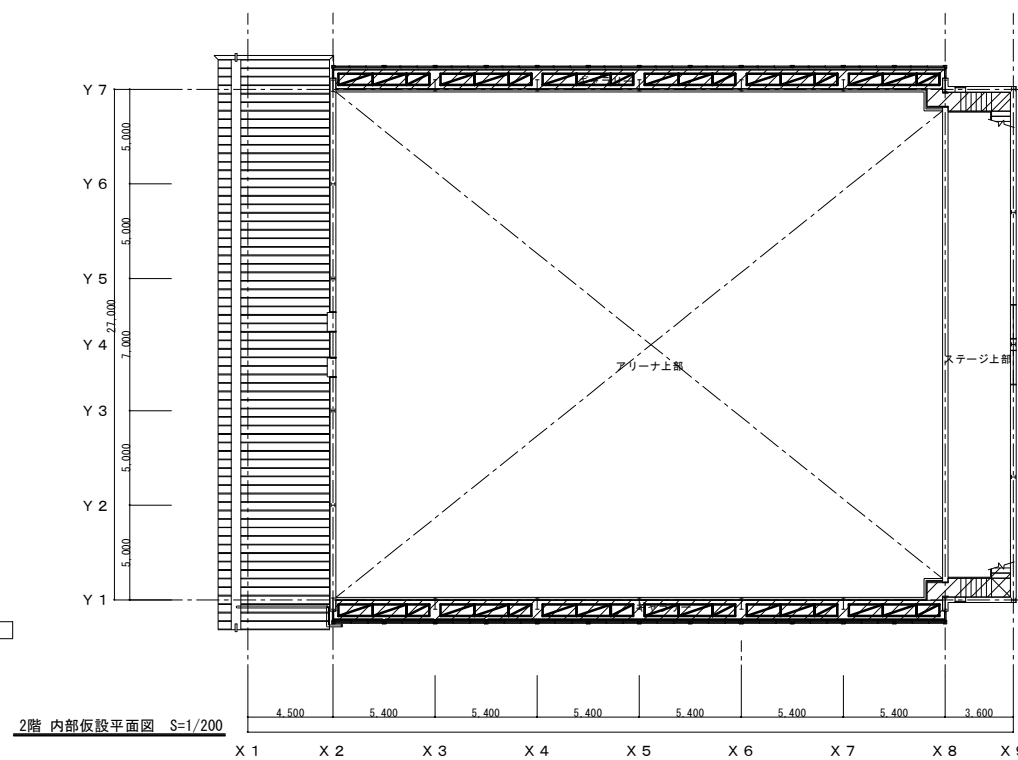
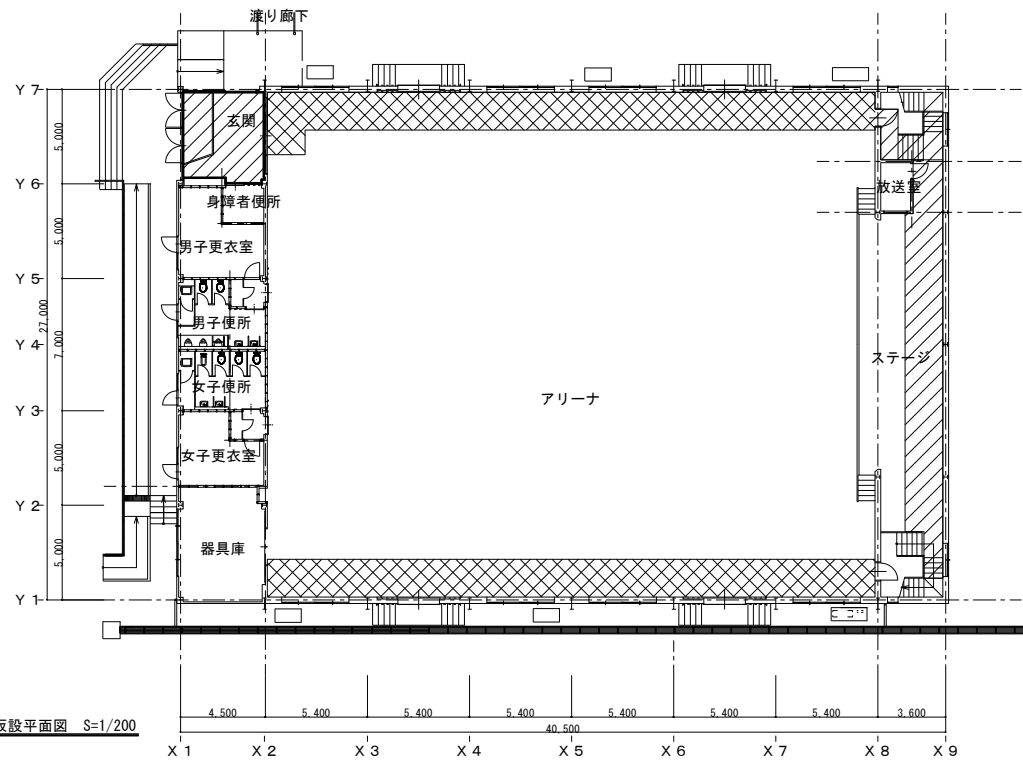


B-B' 断面図 S=1/10

コンクリート：普通コンクリート
設計基準強度 21N/mm²
スランブ 18
鉄筋：SD295A

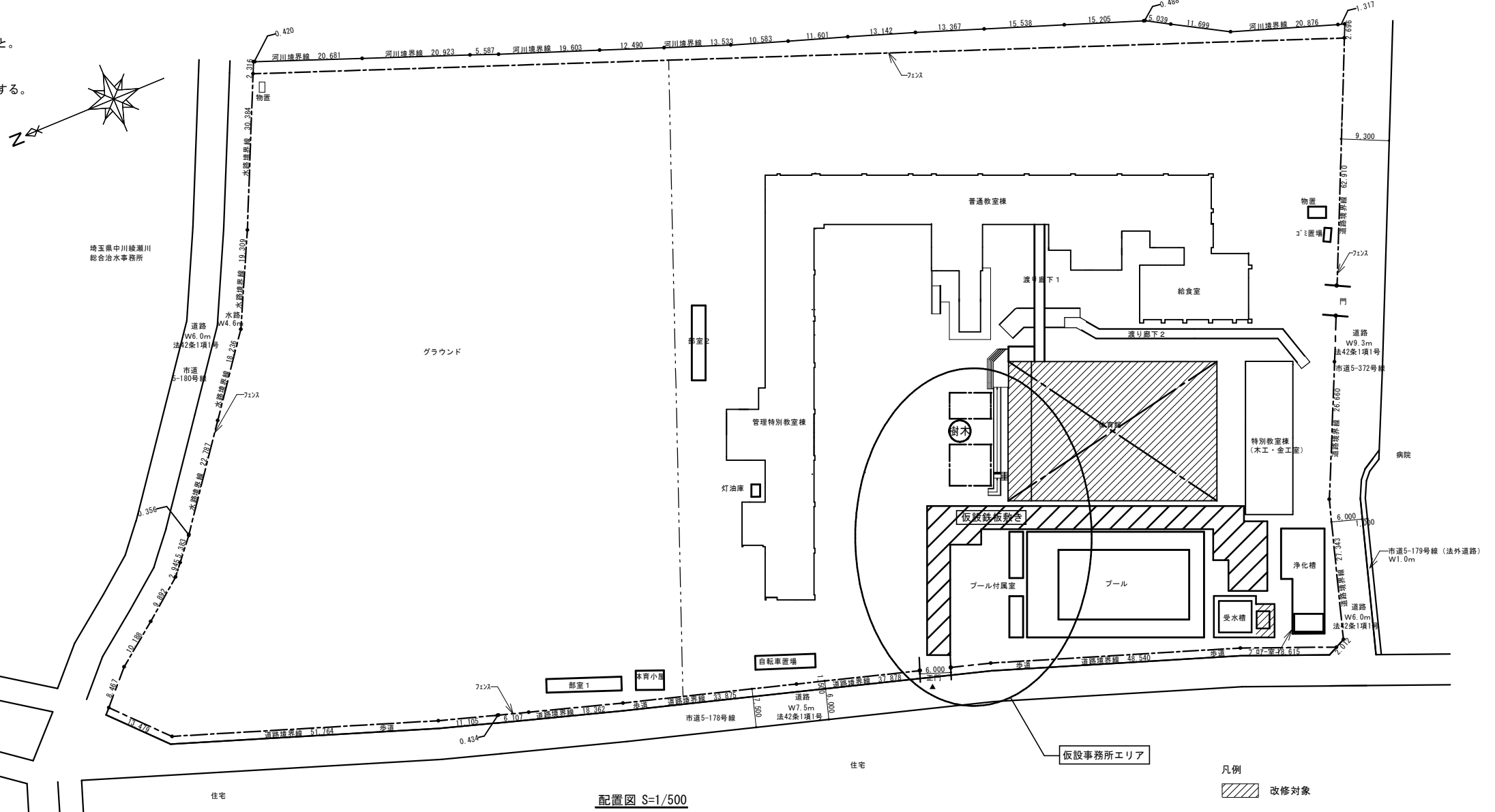
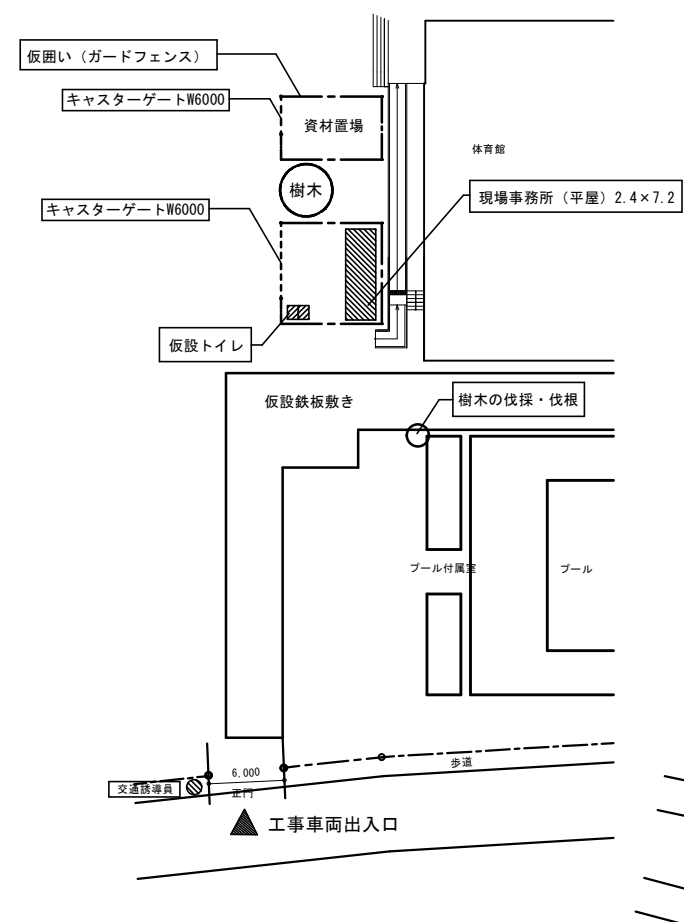
春日部市
教育委員会
施設課

日付	2024.02.16	工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事（緑中学校）	図面No.	A-10
縮尺	A1：図示 A3：図示	図面名称	雑詳細図		

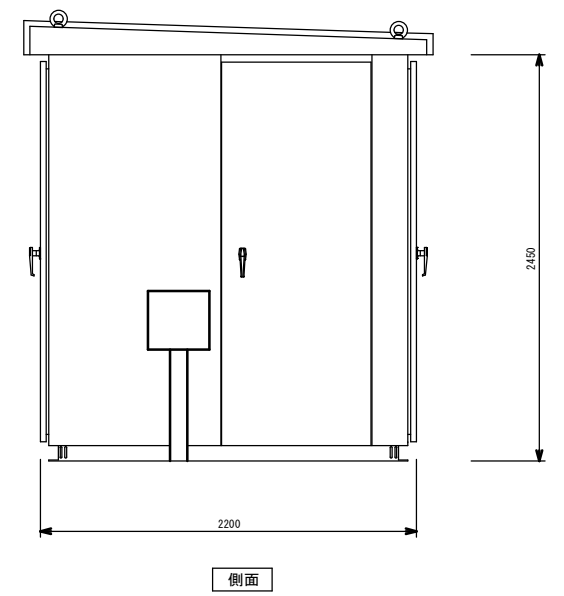
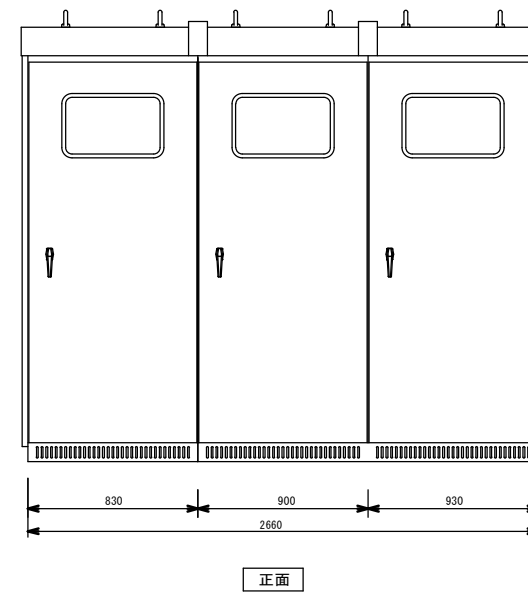
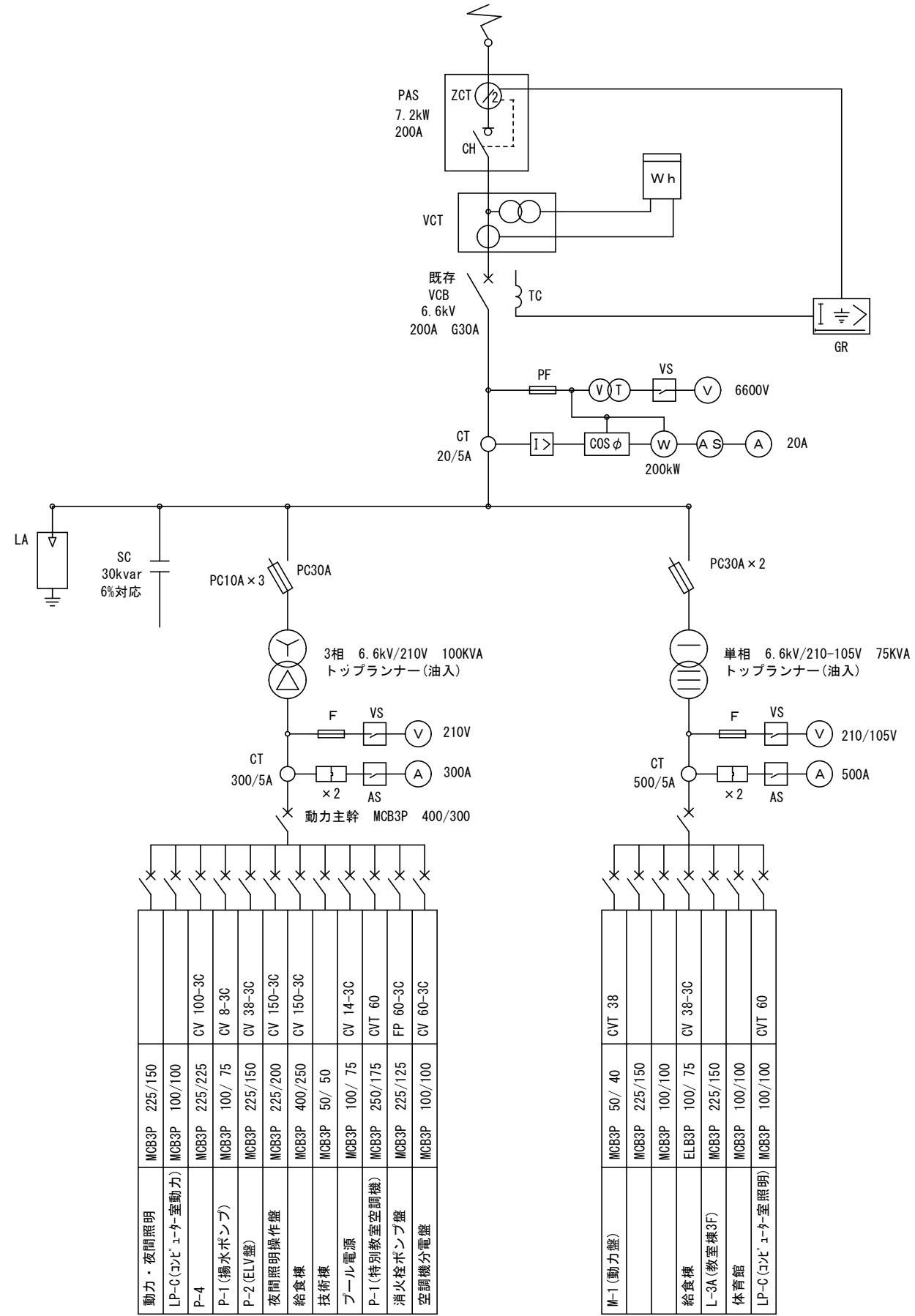


- 【凡例】
- 整理・清掃・片付け・養生 (合板t4+養生シート)
 - 枠組本足場
 - 養生、整理・清掃・片付け

【備考】
 施設利用者の安全性を優先し、事故が発生しないように適宜、交通誘導員等を配置すること。
 仮設の撤収後、既存復旧を行うこと。
 学校行事等により、一時的に仮設の移動、撤収が必要な場合がある。
 この仮設計画は参考であり、学校関係者との打合せにより仮設の規模、位置、時期を決定する。
 子どもの登下校のピーク時間は、工事車両の通行は原則禁止とする。



撤去キュービクル

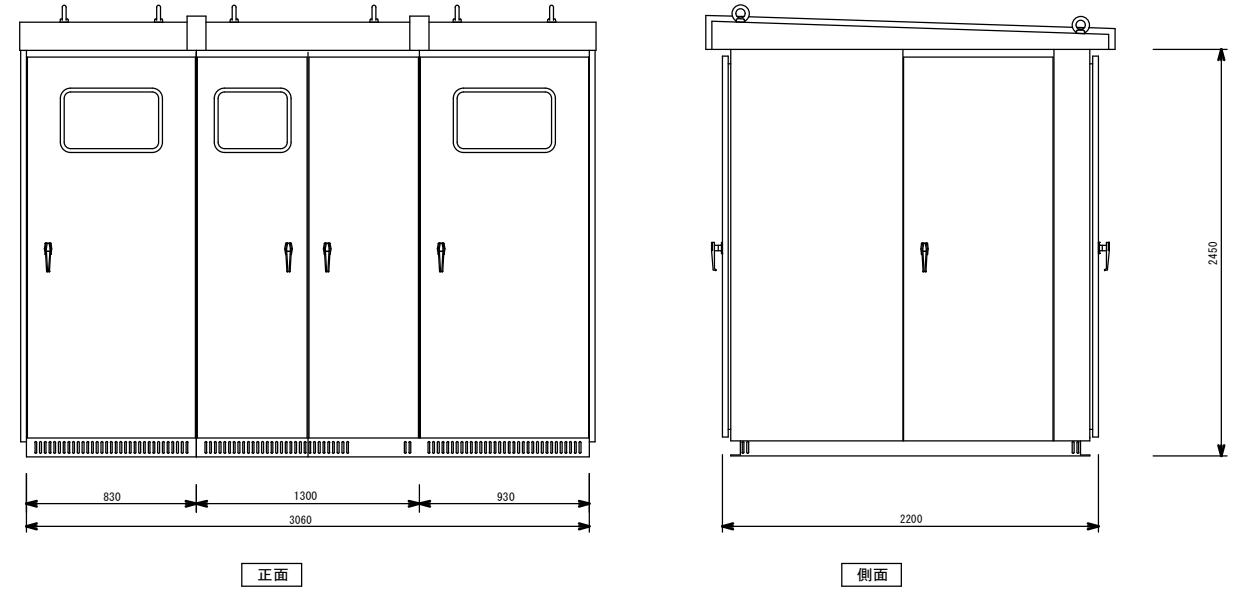
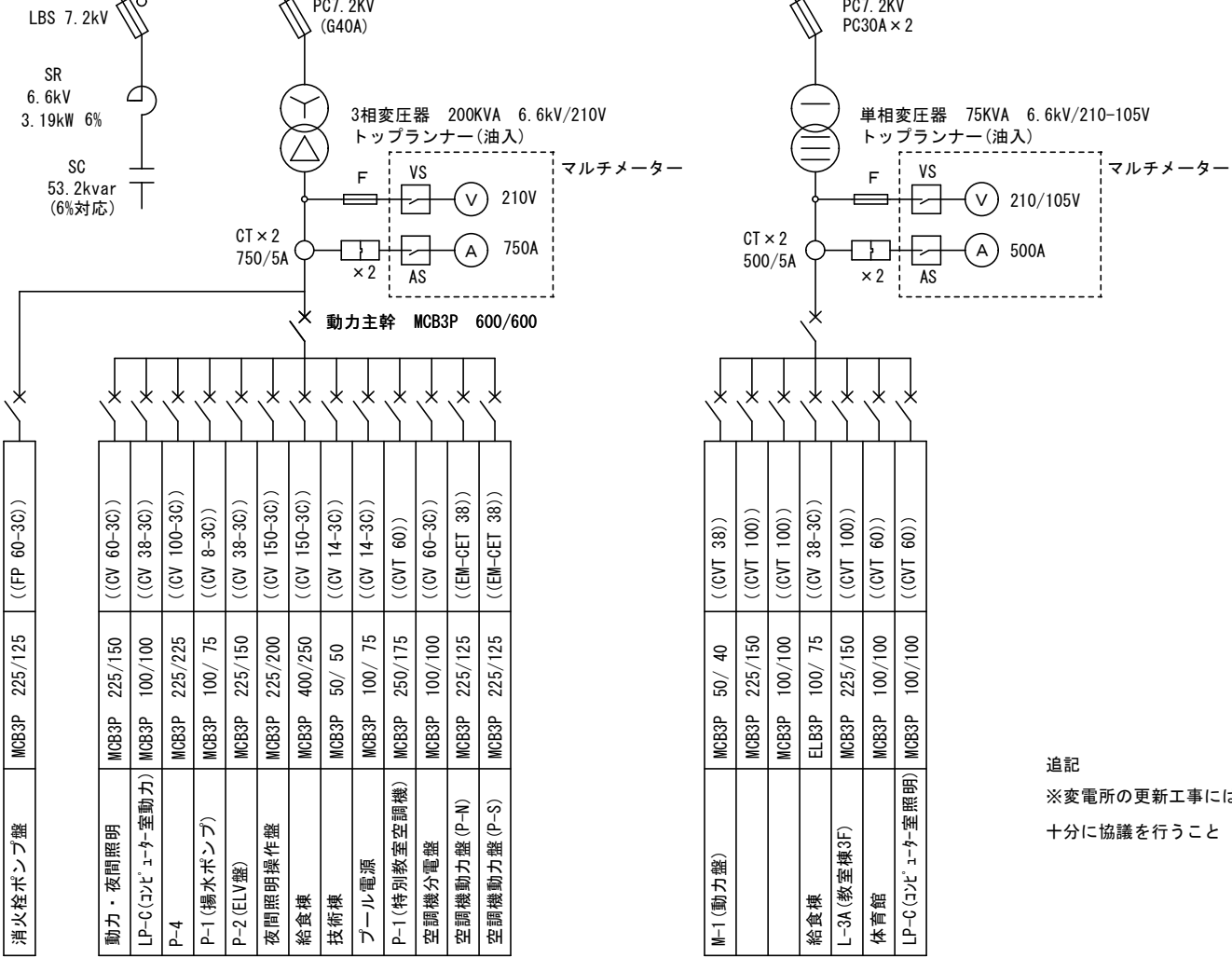
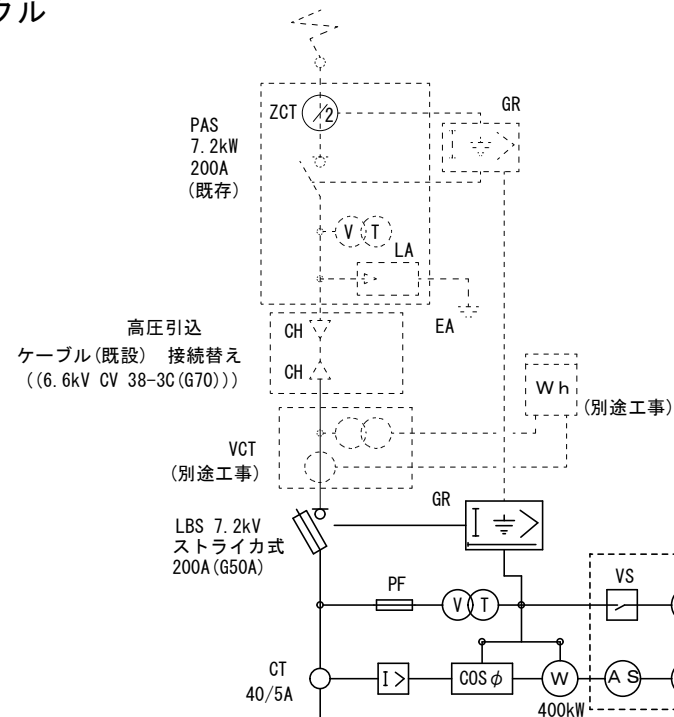
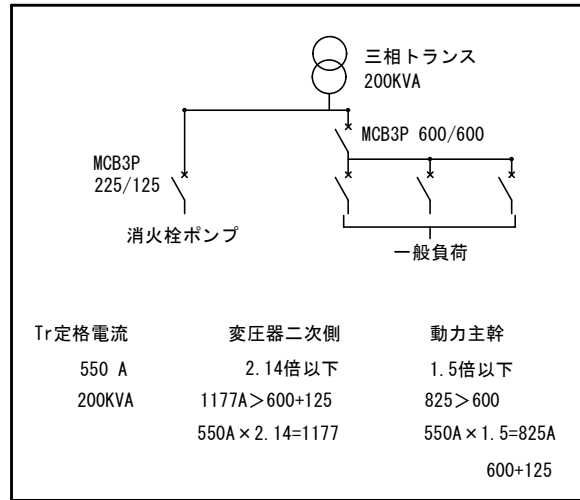


動力・夜間照明	MCB3P	225/150	
LP-C(コトビエーテ室動力)	MCB3P	100/100	
P-4	MCB3P	225/225	CV 100-3C
P-1(揚水ポンプ)	MCB3P	100/75	CV 8-3C
P-2(ELV盤)	MCB3P	225/150	CV 38-3C
夜間照明操作盤	MCB3P	225/200	CV 150-3C
給食棟	MCB3P	400/250	CV 150-3C
技術棟	MCB3P	50/50	CV 14-3C
プール電源	MCB3P	100/75	CVT 60
P-1(特別教室空調機)	MCB3P	250/175	FP 60-3C
消火栓ポンプ盤	MCB3P	225/125	CV 60-3C
空調機分電盤	MCB3P	100/100	

M-1(動力盤)	MCB3P	50/40	CVT 38
	MCB3P	225/150	
	MCB3P	100/100	
給食棟	ELB3P	100/75	CV 38-3C
L-3A(教室棟3F)	MCB3P	225/150	
体育館	MCB3P	100/100	
LP-C(コトビエーテ室照明)	MCB3P	100/100	CVT 60

更新キュービクル

計算書



※前面下部に接続端子台を設置する事
※(()) 既存ケーブル接続替え

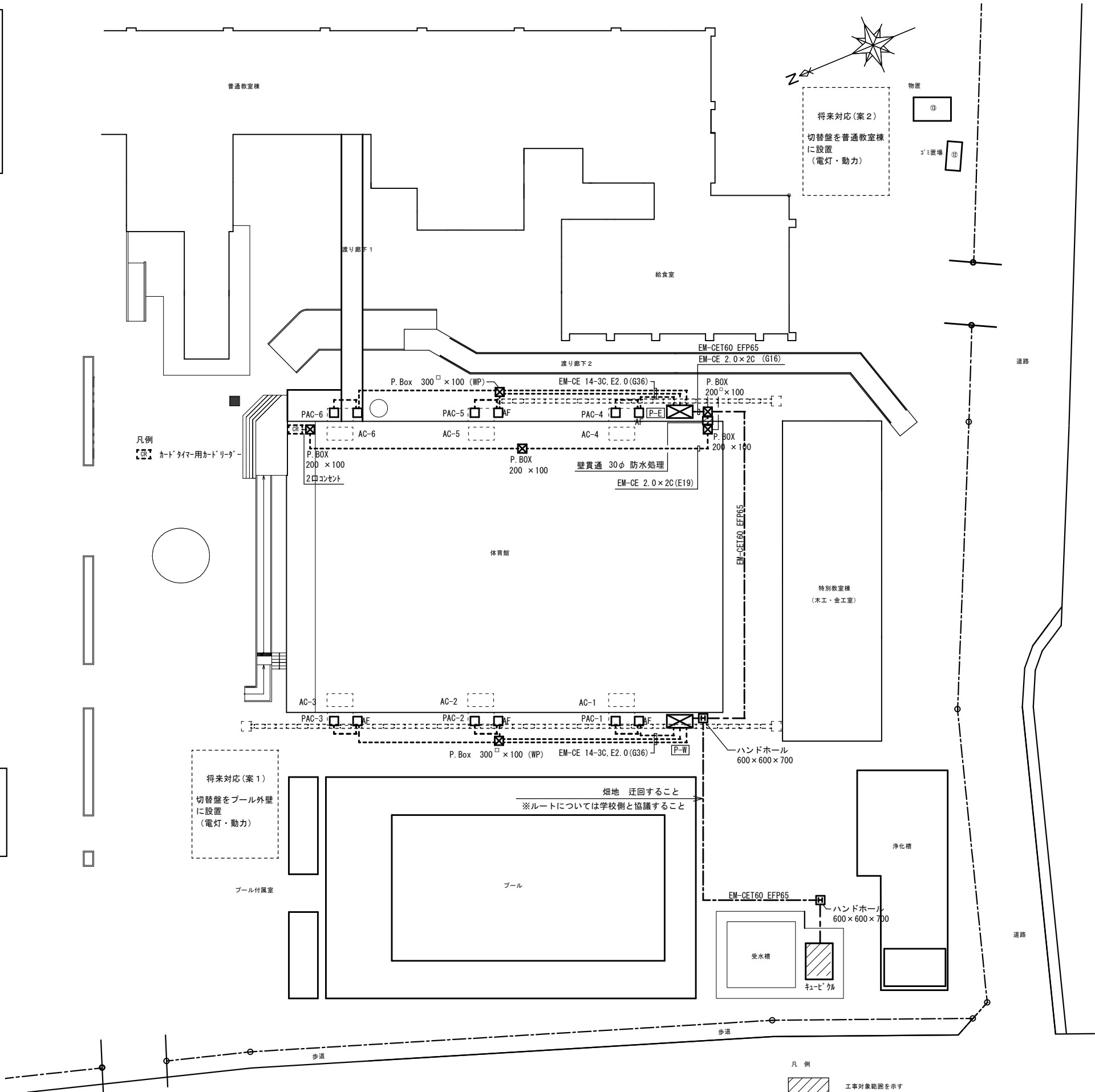
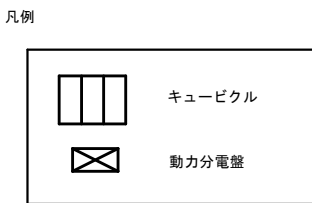
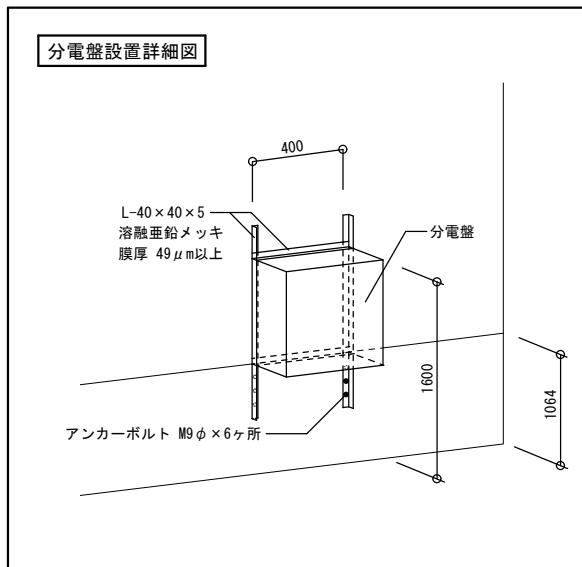
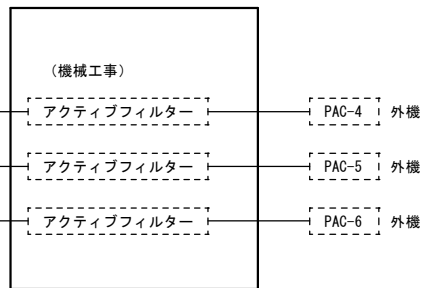
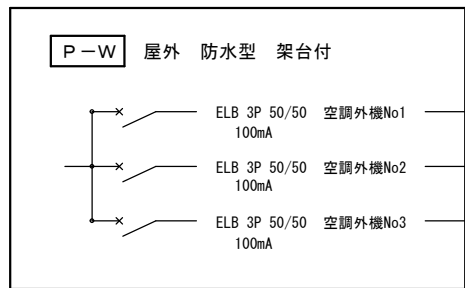
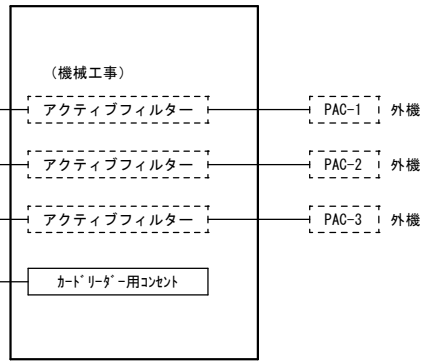
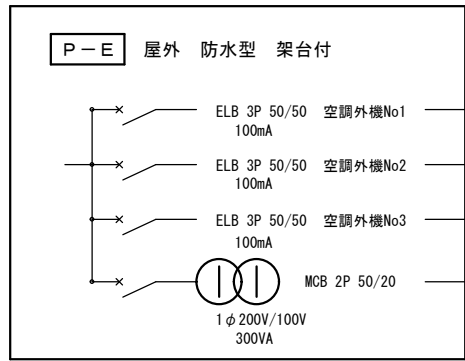
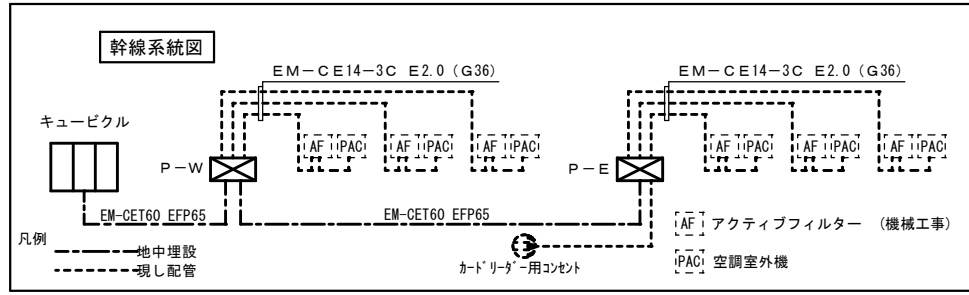
※前面下部に接続端子台を設置する事

追記
※変電所の更新工事には学校担当者として十分に協議を行うこと

警報	キュービクル		備考
	ランプ	ブザー	
限流ヒューズ溶断	○		一括警報
PAS故障	○		
電灯トランス過電流	○		
動力トランス過電流	○		
低圧幹線漏電一括	○	○	
進相コンデンサ異常	○		
直列リアクトル異常	○		

ブザーはタイマーにて停止とする。(0~9.0min)

- 注記2
- 本キュービクルは消防認定品とする
 - キュービクルは屋外型で底板付とする。
 - 箱体は標準色焼付け塗装とする。
 - MCBはバック型とする。
 - 扉スイッチによる照明連動としサーモ動作による換気扇を取付のこと。
 - 消火器及び収納ボックスは本工事とする。
 - 受電用遮断機容量は電力会社と協議すること。
 - 低圧配電盤の遮断機は短絡電流を遮断する能力を有する事。
 - 防振ゴム付とする。
 - キュービクル基礎は既存再使用とする。増設の場合は建築工事とする
 - トランスはトップランナートランス（油入り）とする。
 - 盤の寸法及び構造は全て参考値とする。
 - 消火器を設置する。
 - 県内受変電・盤メーカー製品とする。

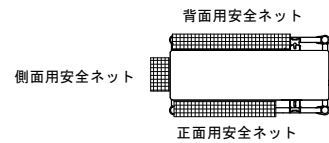


体育館 新設機器表

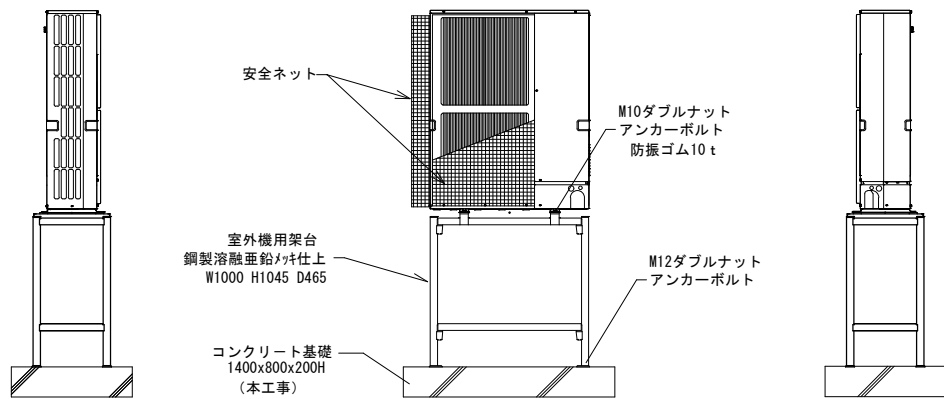
空冷ヒートポンプパッケージエアコン

記号	機器名称 (系統名)	仕様	冷媒	APF	風量 m3/h	重量 kg	電気仕様			数量	設置場所	備考(参考型番)		
							相	V	電力消費量 (冷房/暖房) kW kW					
PAC-1	エリア空調機 (アリーナ系統)	室外機 : ペアタイプ、冷暖房切替運転 冷房能力: 25.0kW 暖房能力: 28.0kW 10HP相当 冷媒管 : 12.7φ、25.4φ 耐震1.0G 付属品 : アクティブフィルター、フィンガード(安全ネット) 防振ゴム 振れ止め金具 室外機用鋼製架台H1045	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.4	8.24/7.29	6組	屋外	コンクリート基礎 ZBHP-ZP280-K 屋外3φ200V電源
		室内機 : 床置設置 冷房能力: 25.0kW 暖房能力: 28.0kW 冷媒管: 12.7φ、25.4φ ドレン管: 25 付属品 : 吹出ルーバー、リモコン、遠方発停用アダプタ 振れ止め金具 床置鋼製架台150H ドレン管: 屋内: 保温付(ACドレン) 屋外: VP、配管取付用弁トラップ設置												4,800

- 特記事項
1. 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
 2. 個別リモコンの設定は運転/停止・運転モード切替・温度設定とする。
 3. 室内機床置用鉄骨架台は本工事、防球カバーはなし、既設手摺防露テープ巻は本工事とする。
 4. 室外機のコンクリート基礎は本工事とする。
 5. 空調機への一次側電源供給は本工事とする。



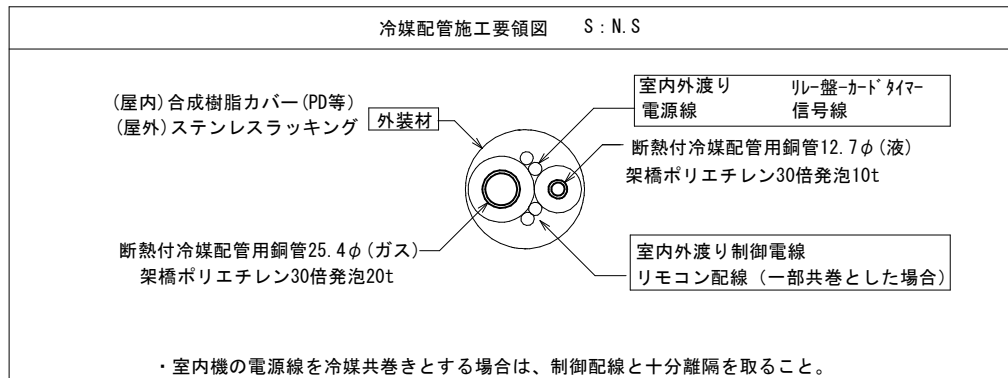
平面参考図



室外機断面参考図

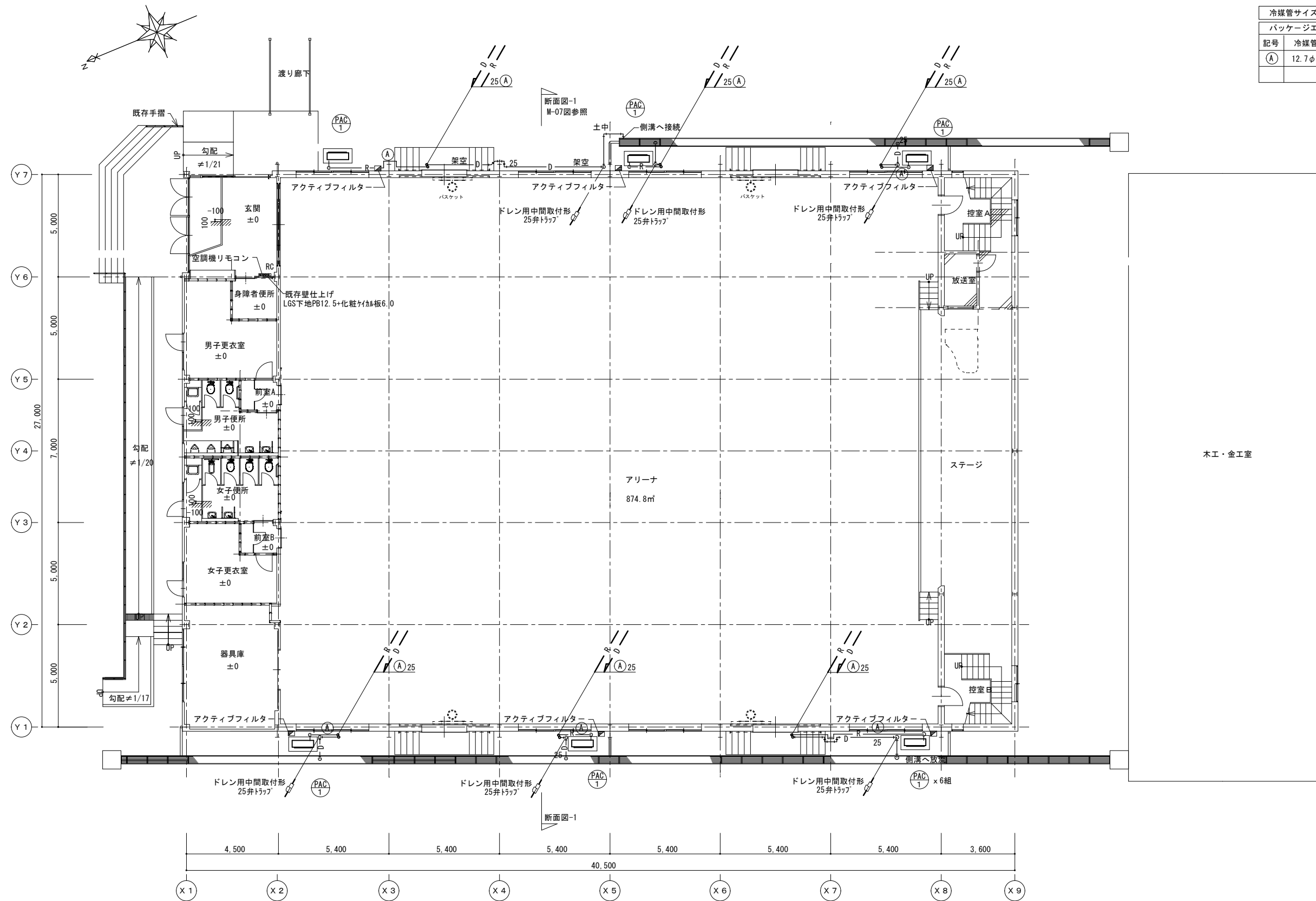
※建築基礎は水勾配を付けるため、機器下はモルタルにて水平をとること。

冷媒配管施工要領図 S : N : S



冷媒管サイズ一覧表		
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
(A)	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5 ⁺ -3C x2

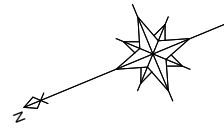
リモコン配線EM-CEE1.25⁺-2C



凡例表		
記号	名称	新設使用材料
— R —	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (保温仕様: 架橋ポリエチレン30倍発泡) 液管: 保温厚10mm以上 (呼び径9.52mm以下は8mm)、ガス管: 保温厚20mm以上 保温外装: 屋外露出部: ステンレスラッキング、屋内露出部: 樹脂カバー (PD等)
— D —	ドレン管	屋内露出: 保温機能付空調用ドレン管 (AC-VP) 屋外露出: 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP)
☐	ドレン用弁トラップ	ドレン用中間取付形弁トラップ

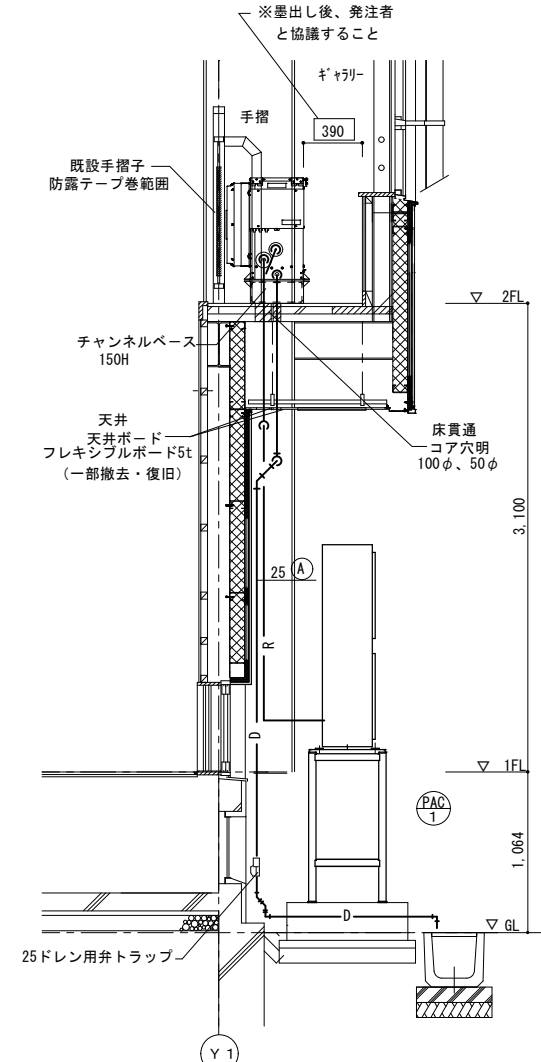
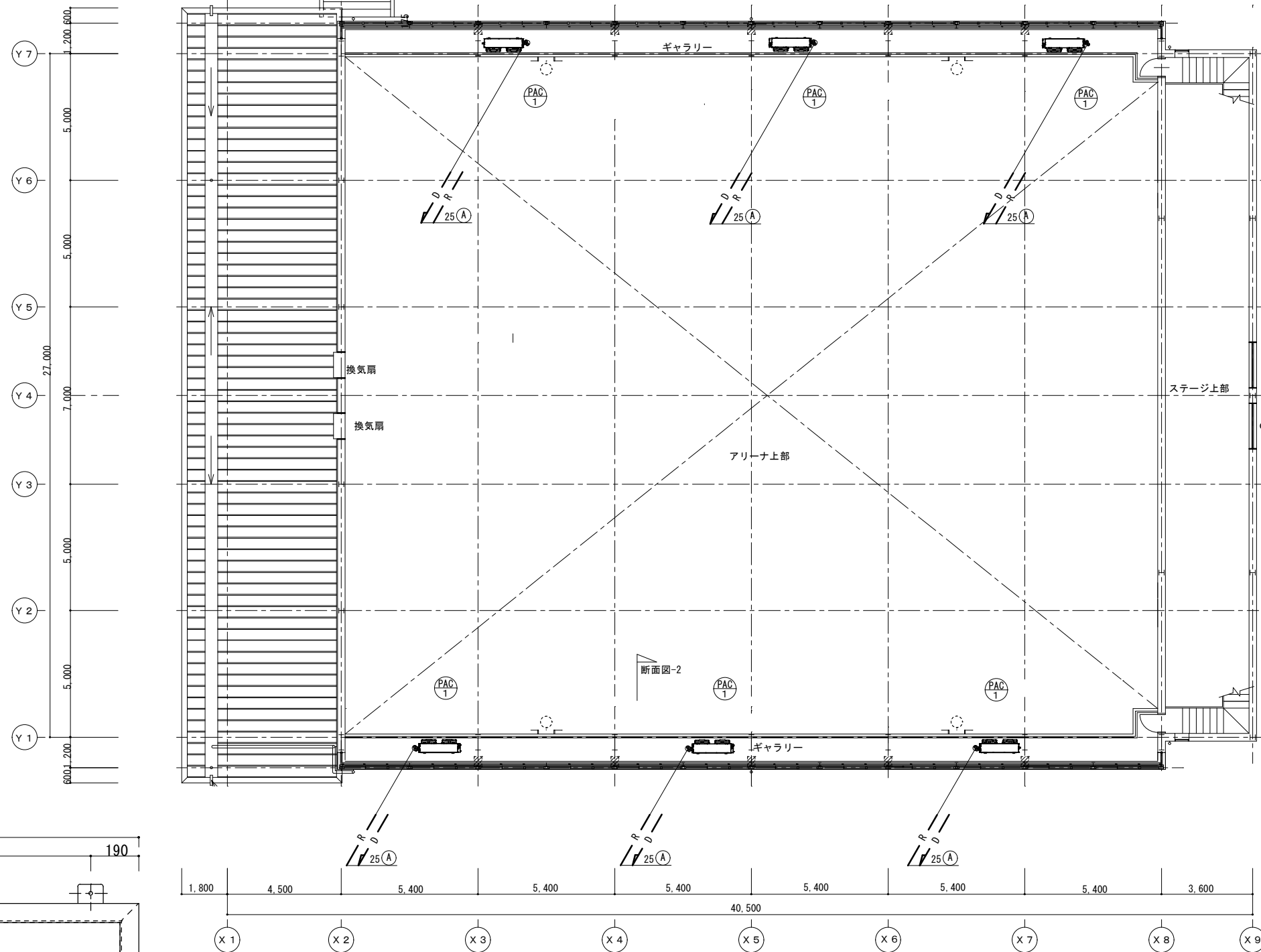
1階平面図 S=1:200

注記: □ 別置型アクティブフィルター
屋外壁掛形 (本工程) 配管配線は電気工事

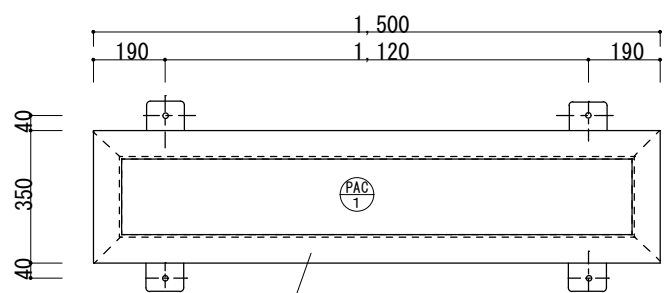


冷媒管サイズ一覧表		
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
(A)	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5 ^φ -3C x2

リモコン配線EM-CEE1.25^φ-2C



断面図-2 S=1:50

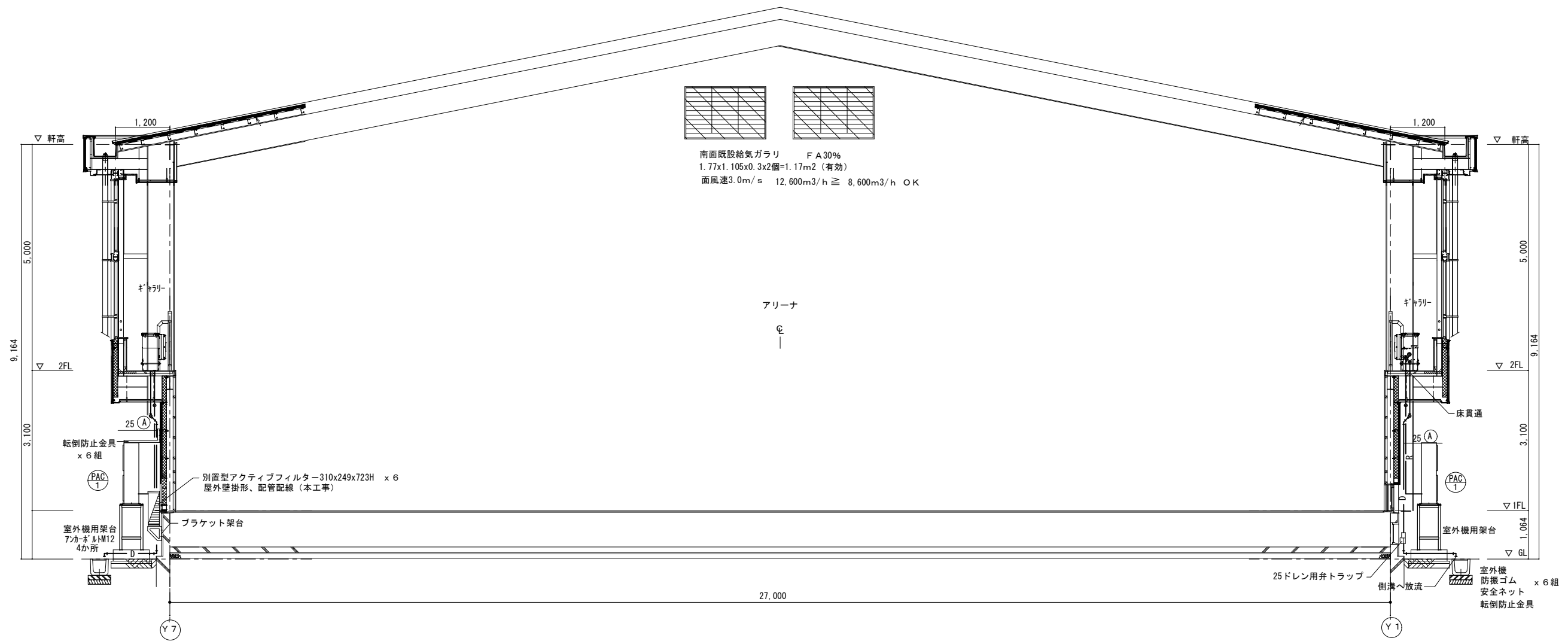
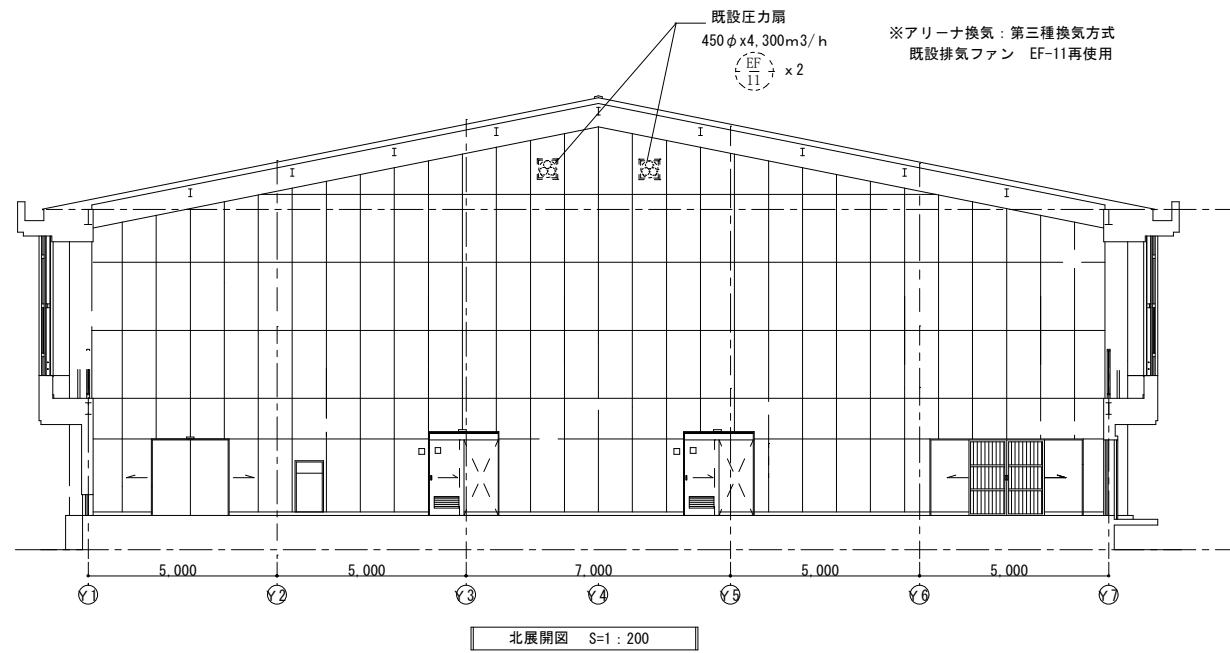


後施工アンカーボルト 4-M10 床スラブ固定用

室内機用床置鋼製架台 (参考図) S=1/20

溶融亜鉛メッキ

2階平面図 S=1:200



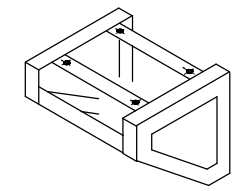
冷媒管サイズ一覧表

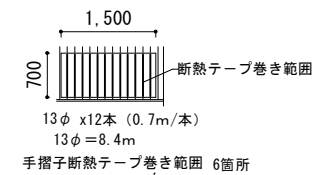
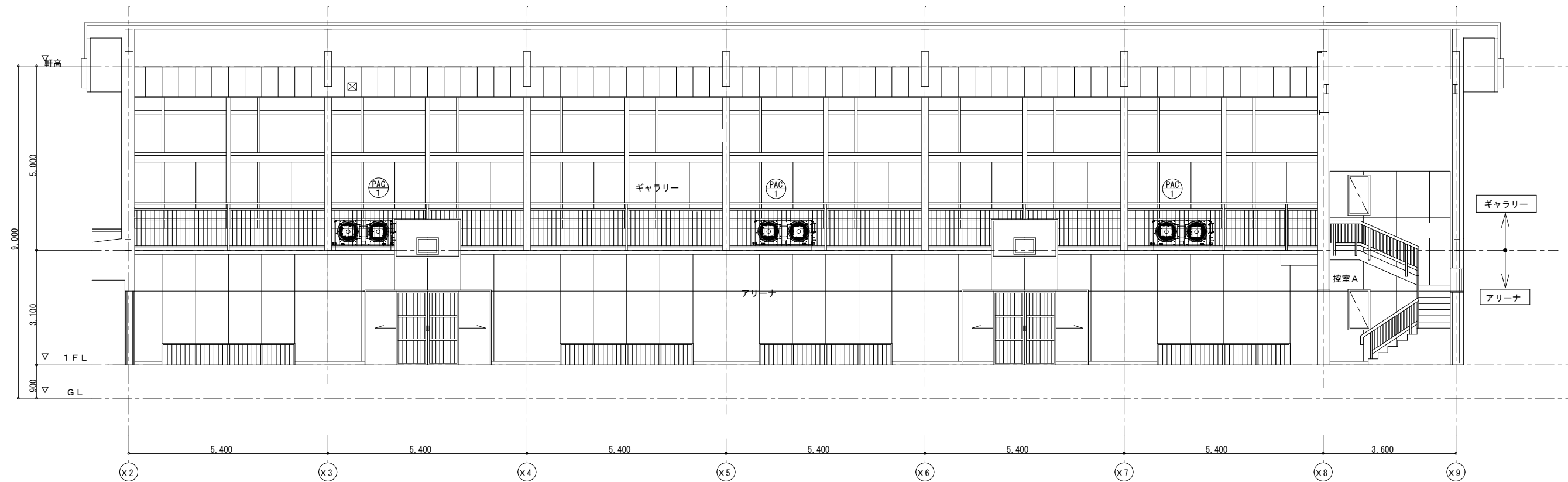
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
(A)	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5°-3C x2

リモコン配線EM-CEE1.25°-2C

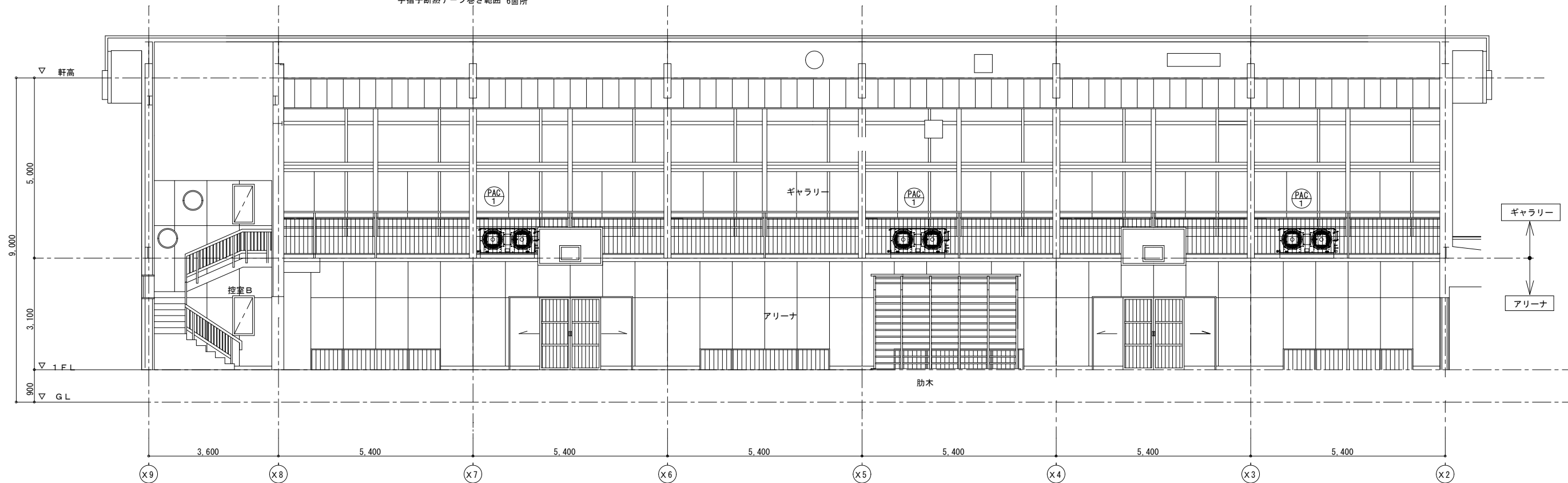
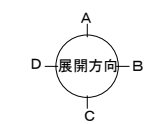
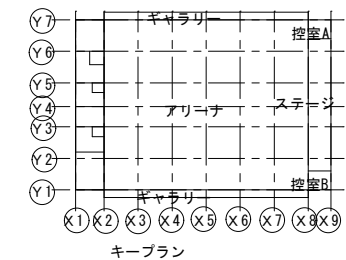
溶融亜鉛メッキ
必要により補強部材を入れる。

アクティブフィルター壁掛設置用鋼製架台 S=1/20

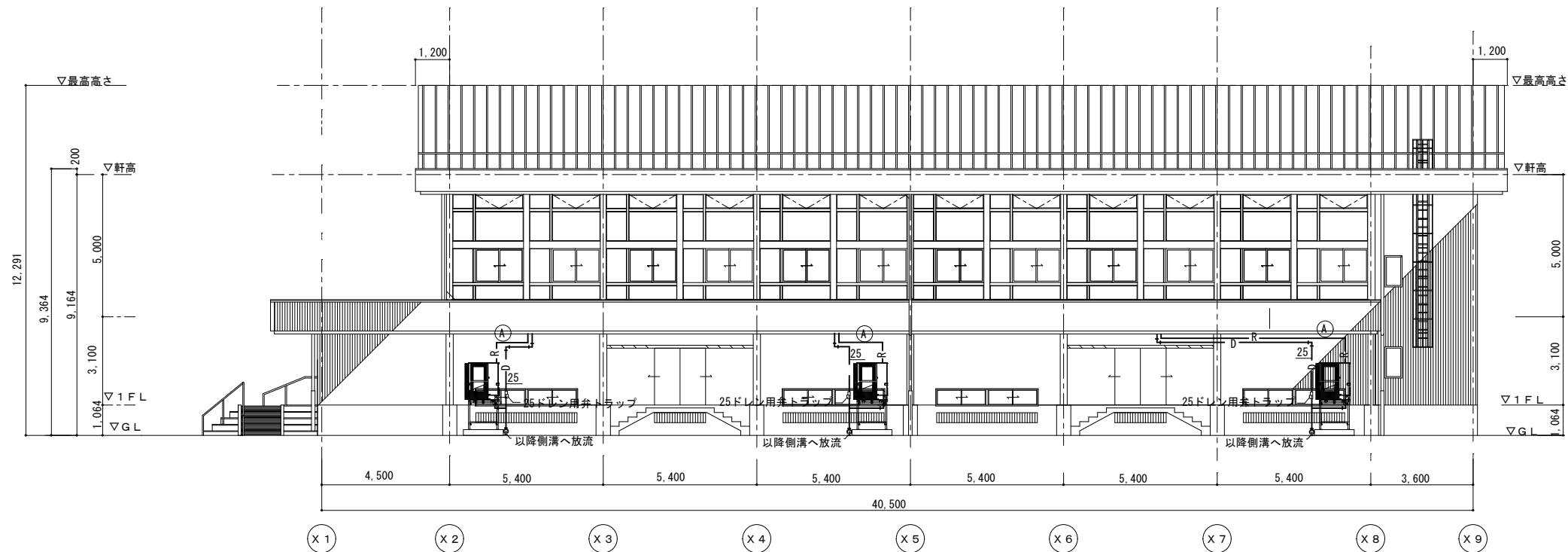




アリーナ展開図1 (A東面)

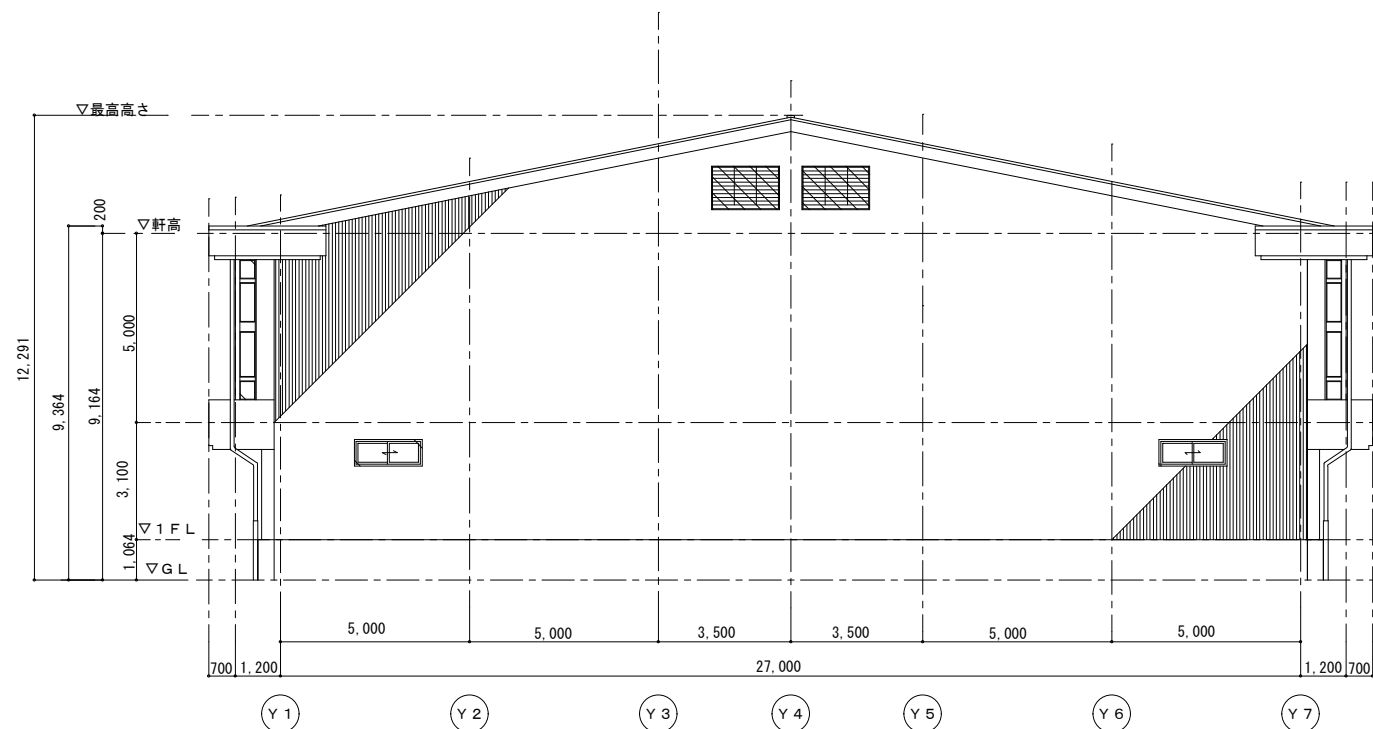


アリーナ展開図2 (C西面)

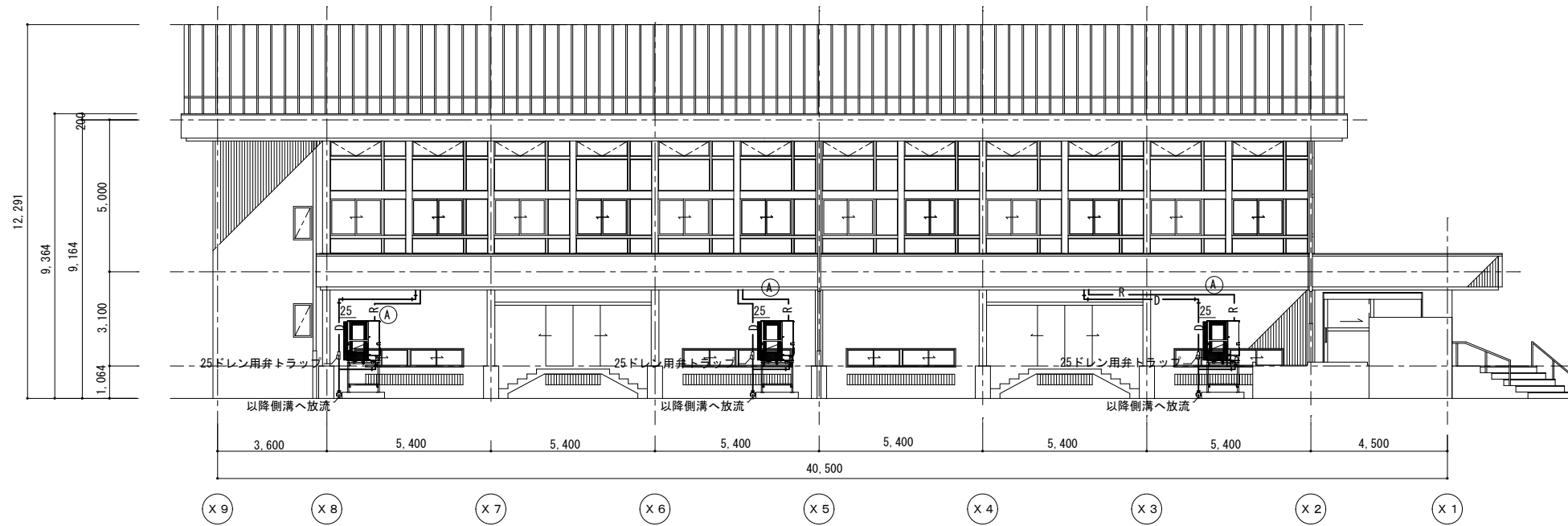


西側立面図 S=1:200

冷媒管サイズ一覧表		
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
Ⓐ	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5 ^φ -3C x2

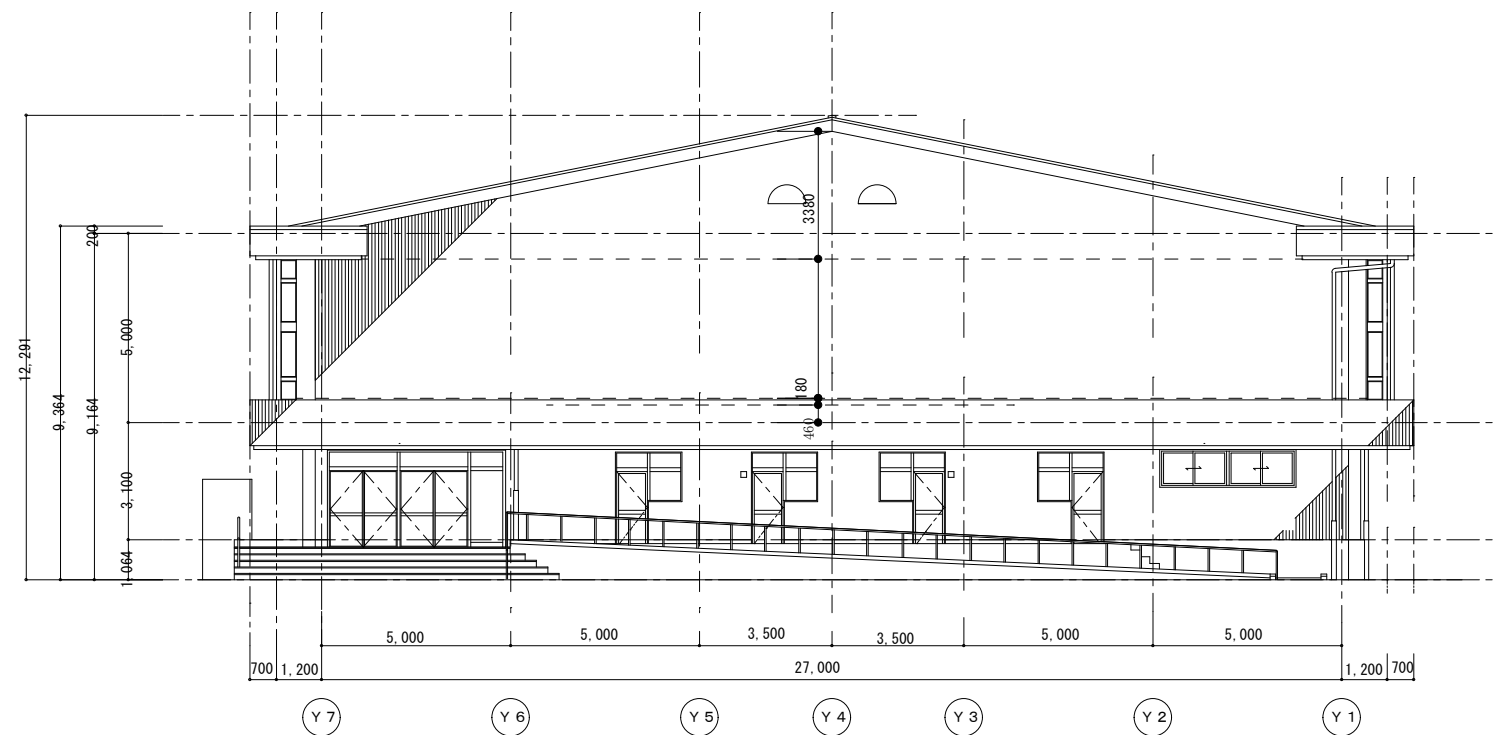


南側立面図 S=1:200

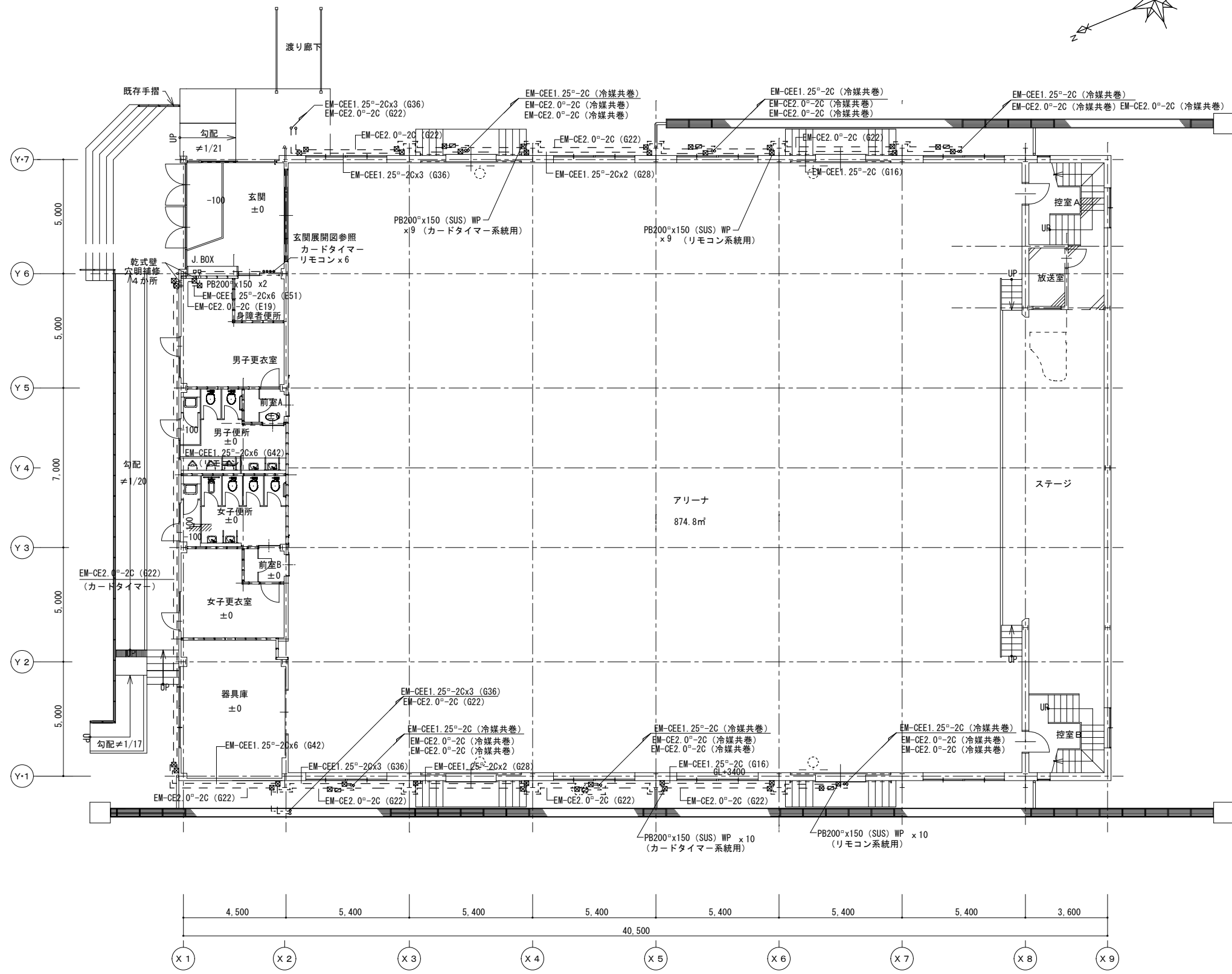
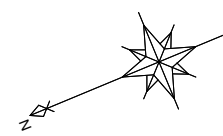


東側立面図 S=1:200

冷媒管サイズ一覧表		
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
(A)	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5 ² -3C x2

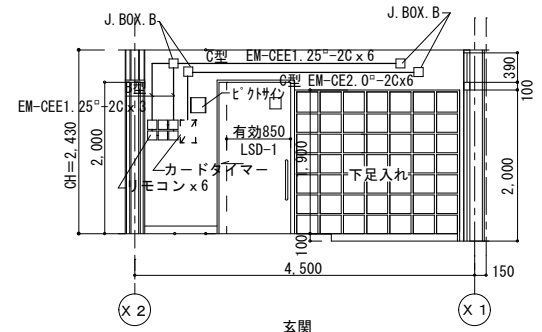


北側立面図 S=1:200

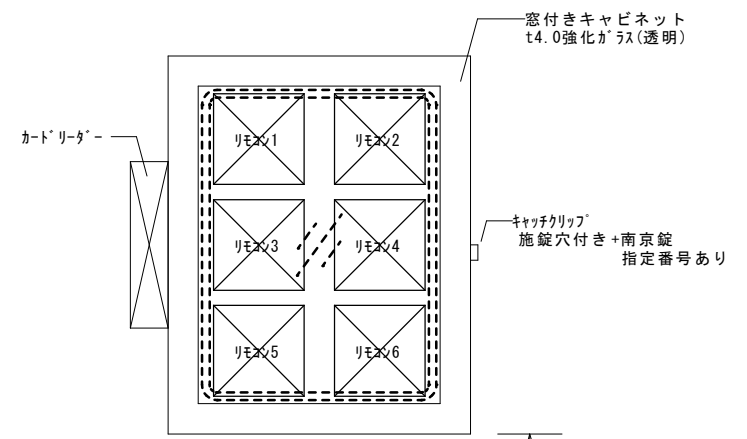


1階平面図 S=1:200

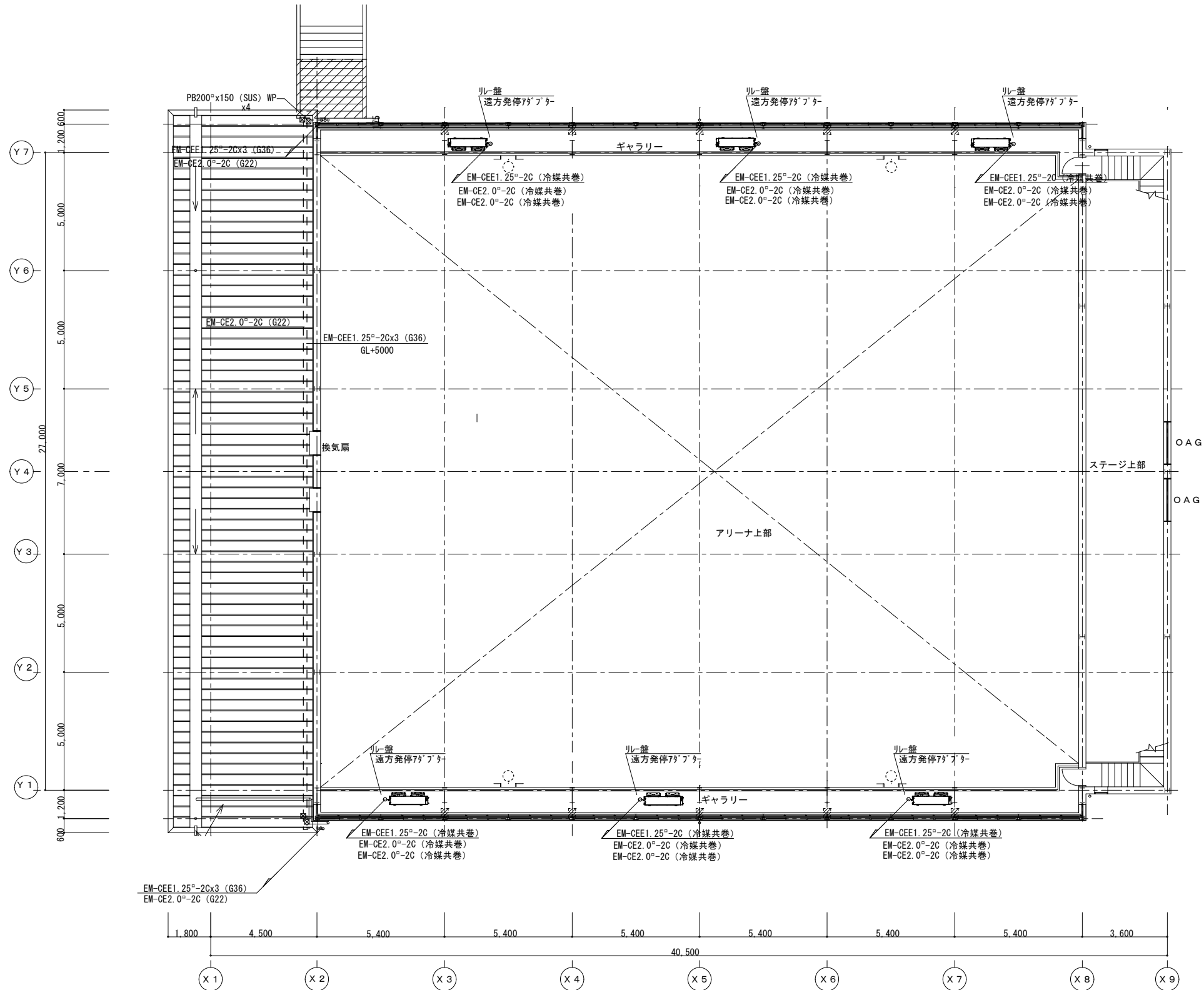
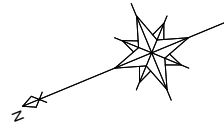
■ ブルボックス
 □ リレー盤 x6



リモコン廻り玄関展開図 S=1:100



リモコン設置詳細図 S=1:10



2階平面図 S=1:200